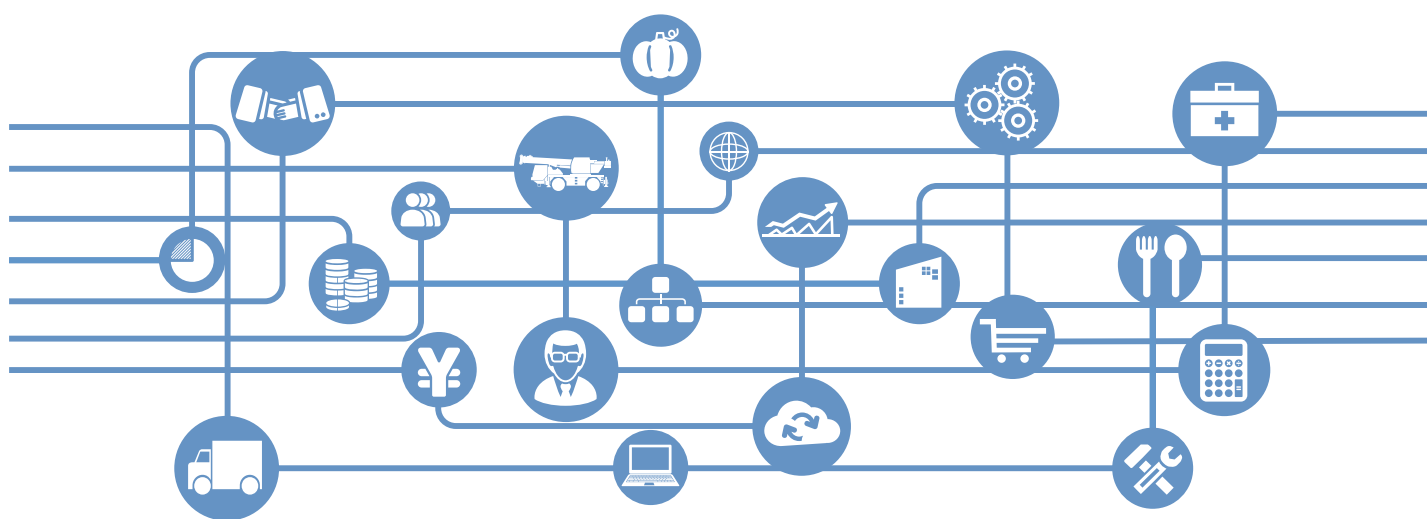


PCA

業種別事例集

～医療・介護～



PCA



社員の多くが販売管理の入力ができる環境をつくることで、滞らない業務の流れを実現。『PCAクラウド』による業務の効率化、営業活動のスピード化を達成。

株式会社 いつき総研

整(接)骨院・鍼灸院などの医療施設のマネジメントやサポートを行っている株式会社いつき総研。レセプトコンピューターから高価な医療機器、固定器具などの衛生材料、さらには医療コーデネイトまで同社の取り扱う商品の種類はじつに幅広い。そこで導入されているのが『PCA商魂Xクラウド』だ。「PCAにしたことでいろいろな安心感が生まれた」と語る同社。その安心感とは業務の効率化にとどまらず、社員が安心して働ける環境づくりにも効果を出している。

導入システム

- PCA クラウド プリペイドプラン (Type6 5CAL)
- ・PCA 商魂 X クラウド

導入の狙い

- ・社員の多くに販売管理の処理ができるようにしたい。1人、1台に集中している業務を分散させたい。
- ・複雑で豊富な種類の商品を確実に管理したい。
- ・営業活動のスピードアップを図りたい。

導入効果

- ・『PCAクラウド』によって各自のパソコンから販売管理の入力が可能に。1人に集中していた業務を分散することでリスクも分散。
- ・『PCA商魂X』の商品登録・取引先登録の柔軟な機能によって、複雑な商品管理・販売管理にも対応。
- ・『PCA商魂Xクラウド』によって、営業社員の知りたい数字をいつでも自ら確認でき、見積書もすばやく発行。営業活動全般をスピードアップ。

プロフィール

株式会社 いつき総研

- 所在地: 〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-2-26
- 設立年月: 平成16年9月
- 資本金: 1,000万円
- 従業員数: 20名
- 主業種: 販売
- 業務内容: ○保険請求(柔整・鍼灸)に関するコンピュータシステムの開発・販売、医療機器販売 ○治療院の開業サポート
- URL: <http://www.itsuki-s.jp>



開業支援から、コンピュータソフトの開発や器具・備品の調達まで、多角的な視点と総合的な対応力で地域に根付く「信頼の医療施設づくり」をお手伝いいたします。

【取材にご協力頂いた皆様】

- ◇株式会社 いつき総研
営業部
寺脇 麻美 氏
- ◇株式会社 いつき総研
営業部
西川 友梨 氏
- ◇株式会社 いつき総研
営業部
三俣 悟史 氏



本社外観

導入前の運用と課題

○1台のパソコン・1人の社員に集中する業務を軽減し、滞らない業務の流れをつくりたい

株式会社いつき総研はレセプトコンピュータシステムや最先端の医療機器、治療ベッドや包帯などの衛生材料、さらには開業支援まで医療施設の運営に必要なサービスを全般的に取り扱っている。「とにかく取り扱う商品の数も種類も多い」(営業部 寺脇麻美氏)という特徴を持つ同社だが、以前は1台のパソコンで販売管理の処理を行っていた。そのため1人の社員がそのパソコンを使っている間は、他の社員は売上の入力や見積書などの出力はできず、そのパソコンが空くのを待って処理を行っていた。

「当社では私の入社前から『PCA商魂』を長く使用しており、私のデスクのパソコンに『PCA商魂』を導入していたのですが、私が席にいないタイミングで他の社員が入力している状況でした。商品検索などもそのパソコンでしか検索できず、各社員がそれぞれ自分のパソコンでも『PCA商魂』を使えるようになったらすごく便利なのにとずっと思っていました」(寺脇氏)

また『PCA商魂』を1台で使用していたために、主にその1台を使用している寺脇氏に業務が集中していた面もあった。見積りについては営業社員がExcel®で作成したデータを寺脇氏が『PCA商魂』へ入力しており、二重入力の手間も発生していた。そして入力業務が1人の社員に集中することによるプレッシャーも大きかったと話す。

「『PCA商魂』の入力操作を一番知っていたのは私ですから、その私が出勤できなくなると業務が滞る心配が常にありました。ですから風邪をひいても休めません(笑)。さらに当時は妊娠中でこのままでは無事に産休に入れるかと心配していましたが、新しく西川さんが入社されて、その西川さ

んが『PCA商魂』の操作にあっさりと慣れたので無事産休に入れました」(寺脇氏)

「『PCA商魂』はすんなりと操作できた印象です。その後『PCA商魂X』へとバージョンアップしたのですが、私自身はスムーズに慣れることができました。『PCAクラウド』によって現在は私と寺脇さん以外の社員も『PCA商魂X』を操作していますが、他の社員も1カ月ぐらいで慣れており、初めて触る人でも取り扱いやすいソフトだと思います」(営業部 西川友梨氏)

選定のポイント

○社員が等しく『PCA商魂X』を利用できる環境にしたい

「販売管理の処理をみんなができるようにすること」を目的にシステムを見直し、『PCAクラウド』を導入したのは2014年7月。最初は無料体験版を利用して、その後すぐに導入を決めたという。

「不安点はいっさいありませんでした。とにかくみんなが等しく『PCA商魂X』を使って、いつでも入力でき、見積書をすぐに出せて、さらに売上などの知りたいデータをいつでもどのパソコンからでも確認できる環境を実現できる期待の方が、不安よりもずっと大きかったです」(西川氏)

同社は以前からリコーリースの自動引き落としを行っており、『PCA商魂X』へバージョンアップしてもそのまま連動して利用できることを確認し、先に『PCA商魂X』へバージョンアップ、その後『PCAクラウド』へ移行した。

「当初は同時接続台数3台から始めましたが、他の社員からも大変好評で、繁忙期などは3台でも足りないということで現在は同時接続台数5台で運用しています。もっとはやくから導入してほしかった！そう思うぐらい、みんな満足して利用しています」(寺脇氏)

導入後の効果

○入力業務を軽減したことで、別の業務を行う時間が生まれた

『PCA商魂X クラウド』の導入によって、滞らない業務の流れはしっかりと確立されている。例えば以前は営業のExcel®入力→寺脇氏の『PCA商魂』入力の二重入力が必要で、寺脇氏がいなければ出力できなかった見積書については、現在は各営業社員が直接『PCA商魂X』へ入力し、見積番号を入力するだけで見積書の出力を行っている。『PCA商魂X』では1伝票あたり最大99明細まで入力できるため、同社のように取り扱う商品数の多い企業にも適している。また見積伝票に入力することで受注や売上データとの連動はもちろん、成約・未成約管理も可能で、数字を入力する作業を大きく減らすことができる。

「入力時間を減らすことができ、スムーズに業務を進められているという実感があります。ミスの軽減はもちろんですが、不要な入力時間を減らしたことで他の業務ができるようになり、これは大きな成果だと思います」(西川氏)

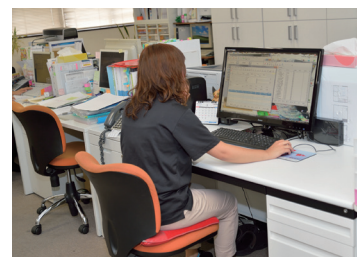
「私の場合は、産休中に以前の『PCA商魂』から『PCA商魂X』へとバージョンアップしていたので、復職直後は操作に戸惑うこともありましたが、一方で便利になった点もよくわかりました。例えばラベルシールの出力の際にスタート位置を選べる機能が増えていて、当社は発送業務も多いですからこれはとても便利です」(寺脇氏)

同社のように発送業務が欠かせない企業のために、『PCA商魂X』には佐川急便やヤマト運輸などの主な宅配事業者の送り状を作成できる機能もある。宅配事業者に応じて送り状の様式を選べるだけでなくフリーフォーマット機能※1もあり、出荷業務の負担を軽減することができる。

○複雑で幅広い商品も『PCA商魂X』の取引先登録・商品登録の機能でカバー

『PCA商魂X』はExcel®データへの出力が容易にできる特性を持っているが、同社ではこれを活かして独自のデータへと活用している。

「『PCA商魂X』の入金伝票の回収データを活用して、未入金データを抜き出し、それを各担当の営業社員ごとに分けてデータを作成し渡しています。以前はこの作業は



社内風景



医療に必要な備品などを豊富に取り揃え、急な注文にも迅速に対応しています。

※1)フリーフォーマット機能:
「システムB」「EasyNetwork」「SQL版」「クラウド版」に搭載の機能です。

システム概況図

【メリット①】

業務の分散とリスクの軽減

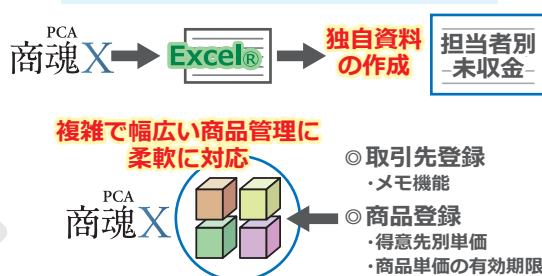
- ・パソコン1台・社員1人に業務を集中させない。社員は必要な時に『PCA商魂X』へ入力し、「見積書」の出力や「売上データ」を確認。



【メリット②】

商品管理・販売管理に柔軟に対応

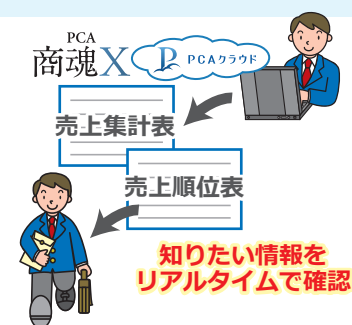
- ・『PCA商魂X』は、Excel®データへの出力・入力が容易なので、それを活かして独自の資料データへ活用。
- ・「取引先登録」「商品登録」などの柔軟な機能を使って、複雑で幅広い商品管理・販売管理に対応。



【メリット③】

営業活動のスピードアップ

- ・営業社員は、各自のパソコンから「売上集計表」「売上順位表」など、知りたい数字をリアルタイムに確認して営業活動に役立てられる。





最先端メーカーの医療機器を取り扱い、提案および提供しています。



株式会社 いつき総研 HP
http://www.itsuki-s.jp

膨大なExcel®の表を出力して、それを1件ごとに目で追う大変な作業を行っていました。しかし今は『PCA商魂X』のデータを容易にExcel®データへ変換・加工できるので、この点も以前との違いを実感した部分です」(寺脇氏)

同社はレセプトコンピューターシステム、医療機器、衛生材料など幅広い商品を持っているが、ほぼそのすべてを『PCA商魂X』で管理している。レセプトコンピューターではシステムの保守料も発生するが、これも『PCA商魂X』で問題なく処理している。顧客によっては小さい商品を数多く購入する場合や、医療機器については型番がそれぞれ複雑に異なるケースも多い。しかし取引先登録や商品登録の柔軟な機能を使うことで対応できている。

「取引先の登録では2048文字まで登録できるメモ機能(コメント欄)があります。摘要部分に入らなかった情報はこのメモ機能を活用しており、みんなが必ず見る売上伝票入力の画面ですぐにその内容がわかるので複雑な商品管理にも対応できています」(西川氏)

他にも商品登録では得意先別単価の登録や、商品単価の有効期限を設定することで期間単価の登録もできる。同社でもこれらの『PCA商魂X』の前準備入力(導入部分入力)の機能を高く評価している。

○営業社員が知りたい数字を、断然はやく知ることができるようになった

今回の『PCA商魂X クラウド』の導入を振り返って、寺脇氏・西川氏の両氏は入力担当者の業務軽減だけでなく、だれもがいつでも数字を確認できるようになったことで、営業社員がそれぞれの営業活動をしやすくなった点も大きいと語る。

「『PCA商魂X』の売上集計表や売上順位表などは、以前なら私1人のパソコンからしか確認できませんでした。しかし今は『PCAクラウド』によって各自のパソコンからいつでもリアルタイムの数字を確認できます。営業社員はこの1年でどの商品が一番人気だったのかなどをよく見ていますね。以前と比べて営業社員が断然はやく数字を知ることができるようになった点も、今回の導入における大きなメリットだと思います」(寺脇氏・西川氏)

今後の展望と課題

○今後も開業者の立場に寄り添ったスタンスで質の高いサービスを提供

医療施設のマネジメントを専門的・総合的に行う企業が増えている中、同社が常に忘れずに意識していることは開業者の立場に立った支援の形だと語る。

「当社の最大の特徴は何かと聞かれたら、開業者の立場を常に考え続けているスタンスだと思います。100箇所の整(接)骨院・鍼灸院・介護施設・医院があったとしたら、100通りの対応力が求められます。当社はその百人百様にお応えし、当社のレセプトコンピューターシステムによって毎日の保険請求業務の負担を減らして、その分患者さんに向き合える時間を作っていただけることを目標にしています。この点はPCAの販売管理システムによって毎日の入力業務の負担を減らし、その分より効率的な業務を行う時間を作るという点と共通している部分だと思います。今後も顧客目線・開業者の立場に立ったサービスを追求していきたいと思います」(営業部 三俣悟史氏)

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

クラウドAPI

『PCAクラウドAPI』を利用した
オリジナル帳票によって、新規の得意先も獲得。
自社の付加価値を高めるサービスを、
『PCAクラウド』によってコストを抑えて実現。

有限会社 三井・メディックス

有限会社三井・メディックスでは介護する人・受ける人の双方に向けたサービスを提供している。
在宅事業やグループホームの運営、医療・福祉に必要な物品提供など幅広い事業を行っている同
社が、「自社の付加価値を高めるために、『PCAクラウド』を利用して行ったサービス」がある。それ
によって実際に新たな顧客が生まれ、既存顧客からは同社への信頼をさらに厚くしている。『PCA
クラウド』のどんな部分を応用して、新たな顧客創出に成功したのか？同社の成功事例を伺った。

導入システム

○PCA クラウド プリペイドプラン (Type12 6CAL)

・PCA 商魂 X クラウド ・PCA 商管 X クラウド

○PCA クラウド API ※1

※ 1) : 『PCAクラウドAPI』により開発した、カスタマイズプログラムが利用できるサービスです。
2016年2月より、『PCA Client APIライセンス』に製品名称を変更させて頂いております。

導入の狙い

- ・自社サーバーでの運用は落雷など常にリスクがつきまとう。
- ・同社独自の集計表を、正確にスピーディーに出力したい。
- ・様々な介護の領域に広がる商品・サービスを確実に管理、分析したい。

導入効果

- ・『PCAクラウド』によって落雷など自然災害によるサーバー停止が起
こらない環境に。複数台のパソコン利用で業務も効率化。
- ・『PCAクラウドAPI』を利用して独自のKPI集計表を作成。しかもほぼワン
クリックで出力可能に。顧客への提供頻度を半年に1回から毎月に変更。
- ・『PCA商魂X』『PCA商管X』の分析機能によって、今後の拡販商品を検
討。キャンペーン商品の売上伝票作成や未収金管理にも利用。

プロフィール

有限会社 三井・メディックス

- 本社所在地: 〒893-0027 鹿児島県鹿屋市上祓川町8469-1
- 資本金: 300万円
- 設立: 昭和63年11月15日
- 従業員数: 74名
- 事業部: メディカル事業部/売店事業部/施設事業部/在宅事業部/産廃事業部
- 業務内容: 医療機器・介護用品販売レンタル
- URL: <http://mitsui-medix.co.jp/>



本社外観

導入前の運用と課題

○落雷被害によって伝票入力がストップ。社内にサーバーを置くことのリスクを実感



有限会社 三井・メディックス
代表取締役専務
本高 健一 氏

有限会社三井・メディックスが扱う介護サービス、医療福祉商品は実に幅広い。医療福祉機器ではベッドやエアマット、介護用品などのレンタルや修理も請け負っている。介護保険や高齢者に適した住宅改修のプランニング、さらにはグループホームの運営や売店事業も展開。一方、在宅で介護サービスを受ける個人の顧客にも対応しており、同社を頼る病院や介護施設、そして高齢者の方などの利用者は相当な数にのぼる。

そのため1日に処理する伝票数もかなりの枚数になり、かつ事業が介護の様々な領域に広がるため、この複雑な販売管理事務を長年PCA製品で処理してきた。しかし従業員も増え、サーバーの更新時期も迫り、あらためてシステムを見直したという。

「これまでどおり自社サーバーを使って『PCA商魂X』『PCA商管X』を使い続ける場合には、2つの懸案がありました。まず1つはコスト面とメンテナンス面です。自社サーバーの場合、入れ替えだけでかなりの費用がかかってしまいます。当社は社内にシステム要員はいませんので、メンテナンスの対応だけでも大変です。そして2つめが、万が一の事態に備えた対応でした。実は以前、落雷の被害に遭い、業務がストップしたことがありました。当社は伝票枚数が多い日で1日に500枚。サーバーが使えないことによる被害はかなり大きくなります。そのため社内にサーバーを置くことのリスクをできるだけ避けたいと思っていました」(代表取締役専務 本高健一氏)

選定のポイント

○オンプレミスからクラウドにしても、PCAソフトの柔軟性は変わらない

当初は「社内にサーバーを置かず、安心してデータを守ることができ、かつメンテナンスの負担を軽減できるシステム」として検討された『PCAクラウド』だったが、同社にとってメリットのある特徴がいくつもあったという。まずは順調に業績を伸ばしている同社の拡大に合わせた運用ができる点だった。

「現在、本社と営業所をクラウドで結び、時間差のない正確な売上データを共有しています。もしVPNを引いて営業所とネットワーク化した場合では、結局営業所のサーバー管理が付いてきますが、『PCAクラウド』ならその心配はありません。そして何よりも便利に感じたのが、『PCAクラウド』ならどのパソコンにも『PCA商魂X』『PCA商管X』をインストールして使えることです。従業員がそれぞれのデスクのパソコンから入力できるため、夕方の伝票入力の作業は圧倒的に時間短縮できると考えました」(本高氏)

そしてこの『PCAクラウド』へのリプレイス時に、『PCAクラウドAPI』を利用したカスタマイズで集計・帳票作成が可能なこともわかった。

「オンプレミスからクラウドにしても、帳票作成のカスタマイズへの対応ができること。これも選定時の重要な決め手となり、その後、実際に大きな結果を生み出すことになりました」(本高氏)

導入後の効果

○自社だけでなくユーザーの経営改善に活かしてもらうための独自の売上集計表

現在、同社では『PCAクラウドAPI』を利用してカスタマイズした帳票作成機能によって、売上集計表を独自の設定で集計・出力している。それは病院や介護施設にとってKPI



有限会社 三井・メディックス
常務取締役
諏訪原 英明 氏

(主要業績評価指標)ともいえる 排泄コスト推移表だ。

「排泄コスト推移表とは、簡単にいえば介護用おむつをどれぐらい使用しているかの実績データです。当社のお客様である病院や介護施設が次年度の予算を組むときの参考にしたり、あるいは経費を見直す際にもおむつの発注に無駄はないか、あるいはもっと必要なのではないかなど、お客様の経営改善に活かしてもらえるデータです」(常務取締役 諏訪原英明氏)

同社ではこの排泄コスト推移表を以前から集計・出力していた。しかしこのデータを配布する先のお客様の数は約200箇所。当然、それぞれのお客様個別のデータを集計・出力する。以前はExcel®で入力していたためミスもあり、実際のデータとの照合にもかなりの時間をかけなければいけなかった。そのため得意先への配布・情報提供は半年に1回が精一杯だった。

「集計・出力にとっても手間のかかる排泄コスト推移表ですが、お客様からは大変好評でした。このような集計表をお客様に向けて提供している企業はおそらく少ないと思います。また当社の提供するデータが正確なため、信頼にも繋げていました。この排泄コスト推移表を『PCAクラウドAPI』を利用す

ることで、より効果的に集計・出力・配布できるようになったのです」(諏訪原氏)

○半年に1回の集計・配布から、1カ月に1回の集計・配布・情報提供に

以前は半年に1回しか集計・配布できなかった排泄コスト推移表だが、『PCAクラウドAPI』のカスタマイズ集計によって、現在は1カ月に1回の頻度で出力・配布している。お客様には毎月、情報提供できるようになり、お客様側にとって重要な指標のため大変喜ばれているという。同社の排泄コスト推移表では月次推移はもちろん、1袋に12枚入りの商品の場合には1枚ごとの利益も算出できるようにしている。同社にとっては得意先毎・商品区分毎に売上・仕入・粗利を確認でき、お客様側にとっては正確なおむつの使用数が月毎に確認でき、来年度の予算の目安にもでき、無駄も見直せる。

集計・出力の時間や工程数も大きく変わった。以前はExcel®への入力→事務スタッフのチェック→さらに各営業担当者のチェックと数段階の作業が必要だったが、現在は得意先コードと期間指定さえすれば、ほぼワンクリックで排泄コスト推移表を出力できる。

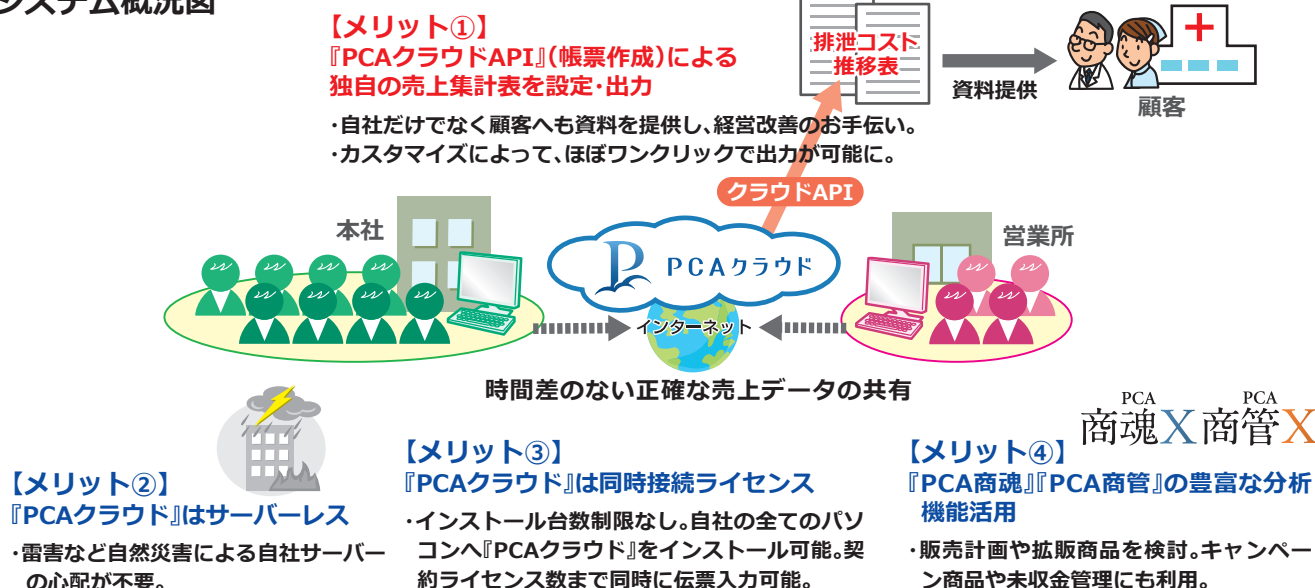


本社内の様子



倉庫内の様子

システム概況図



「以前は事務スタッフと営業社員が2、3日かけてやっと1カ月分の集計ができていました。それを半年分でしたからね。しかし今は1カ月分の1件のデータを出すのにおそらく1分。100件分のお客様のデータを出すなら100分です。200件なら3時間少しあればよいわけです。さらに出力される数字は『PCA商魂X』『PCA商管X』からダイレクトに集計した数字ですからミスありません。この正確性が功を奏した場面もありました」(本高氏)

○正確な情報を提供できることの強み。新しい得意先を増やすことにも成功

ある得意先より同社の提供した排泄コスト推移のデータに間違いがあるのではないかと指摘されたことがあった。確認してみるとその得意先が集計した数字に漏れがあり、同社の提供した数字が正しいことが判明した。

「その得意先のご担当者様が、三井・メディックスはといったどうやって正確な数字を出しているのかとお聞きになり、『PCAクラウド』から出力しているとご説明しました。ちょうど『PCAクラウドAPI』のカスタマイズ機能を取り入れた翌月のことでした。おそらくここで当社の数字にミスがあったり、うやむやな対応を取ってしまったら、そのお得意様を失う結果になっていたかもしれません。正確な数字を自信を持ってご提供できることは大変価値があると思います」(諏訪原氏)

このような正確な実績データをサービスとして顧客に提供している同社の姿勢を評価して、新たに取り引きを始めた病院・介護施設もある。実際に得意先を増やすことに効果が出ている。

「この実績データの情報提供サービスは、当社の付加価値を高めるもので、なくてはならないサービスです。スピーディーな集計をしたくて自前のシステムも検討したぐらいですが、それを『PCAクラウド』のカスタマイズによってコストを抑えて実現できました」(本高氏)

今後の展望と課題

他にも同社では『PCA商魂X』『PCA商管X』の分析機能も活用しており、売上集計表や仕入集計表はもちろん、売上順位表では商品別に集計し今後の拡販商品の参考にしている。入金消し込み機能では回収予定額の確認、期間単価の登録ではキャンペーン商品の売上伝票作成など、積極的に『PCA商魂X』『PCA商管X』の機能を活用している。

「しかしまだまだ使いこなせている実感はありません。PCA九州営業所では『使いこなせセミナー』が開催されていると聞いたので、ちょっと詳しく見てみたいですね」(諏訪原氏)

同社が『PCAクラウド』のメリットを上手に活かして新規の顧客や信頼の確保に繋げているのは、やはり同社の「お客様を思う姿勢」が強かったからに他ならない。「当社が存在していることで、地域の人々が安心して暮らしていけるように」(本高氏・諏訪原氏)を強く考え、販売店ではあるものの、売るだけの企業ではないことを常に心掛けている。

「今後もお客様にとって最高のサービスを提供していきたいと思います。当社の付加価値を高めるためにも、今後も『PCAクラウド』をうまく活用しながら、安心してこの地域で年齢を重ねていける人々が増えるよう努力していきたいです」(本高氏・諏訪原氏)



(有)三井・メディックス HP
http://mitsui-medix.co.jp/

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



『PCA給与X』×食券発行・食費天引きシステムの連携で食堂のメニューも多彩に。
コストをかけなくても、実感してもらえる
充実した福利厚生のあるあり方。

社会福祉法人 真寿会 老人保健施設 リハビリセンターあゆみ

3,344平米もの広大な敷地に建つ老人保健施設「リハビリセンターあゆみ」。利用者が自立した生活に戻れるための支援に力を入れており、先進の機能訓練室や広々とした浴室など充実した設備環境を整えている。その充実ぶりは働くスタッフにとっても同様だ。福利厚生に力を入れており「コストをかけずに、いかにみんなが働きやすい環境を作れるか」が総務課の課題になっている。働きやすい環境づくりの一助として導入されたPCAのシステムによって、スタッフたちが毎日喜べる効果がすでに出ている。

導入システム

- PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type2 2CAL)
- ・ PCA 給与 X クラウド ・ PCA 人事管理 X クラウド
- 就業管理クロノス ※1 ○テレタイム Zaion ※2
- テレタイム X(タイムレコーダー) ※3 ○Web 給金帳 ※4

導入の狙い

- ・少数の人員で200名を超えるスタッフの勤怠管理をしたい。
- ・総務本来の仕事をするためにも、勤怠管理の効率化を進めたい。
- ・食券発行と食費天引きのミスを減らしたい。
- ・コストをかけずに福利厚生を充実させたい。

導入効果

- ・PCAのソリューションによって、スマートで確実な勤怠管理システムを実現。
- ・『PCA給与X』とクロノスの連携によって、ミスのない食券発行・給与天引きシステムを実現。
- ・勤怠管理の仕組みを見直したことで、食堂のメニューも多彩に。従業員の福利厚生を拡充。

プロフィール

社会福祉法人 真寿会 老人保健施設 リハビリセンターあゆみ

- 所在地: 〒521-1201 滋賀県東近江市新宮町558番地
- 開設年月日: 平成8年10月1日
- 従業員数: 97名 (法人全体: 207名)
- 業種: 介護保険事業
- 建物面積: 3,344平方メートル
- 入所定員: 100名(ショートステイを含む)
- 通所リハビリ定員: 40名
- 訪問リハビリ、居宅介護支援 ※訪問介護 (H28.1開設予定)
- URL: <http://shiga-shinjukai.or.jp/>

「その人らしい生活」の実現のために

私たちは、『介護』を必要とされる方に、リハビリテーションを通じて在宅への復帰または在宅生活の継続を支援しています。

そのために、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士によるリハビリテーション、また医師をはじめ介護支援専門員・介護福祉士・看護師・管理栄養士・支援相談員など専門スタッフが、健康管理・食事・入浴など利用者様ひとりひとりの目標に合わせたケアサービスをチームで提供しています。



※ 1・2・3・5)：『就業管理クロノス』『テレタイムZaion』『テレタイムX(タイムレコーダー)』『就業管理たんぽぽ』は、クロノス(株)の製品です。

※ 4)：『Web給金帳』は、(株)インターコム
の製品です。



社会福祉法人 真寿会
老人保健施設 リハビリセンターあゆみ
副施設長
谷 智之 氏



社会福祉法人 真寿会
老人保健施設 リハビリセンターあゆみ
総務課 副主任
西澤 美穂 氏

導入前の運用と課題

○5名の総務課で200名を超えるスタッフの確実な勤怠管理・給与処理を行うために

琵琶湖にほど近いのどかな環境の中、利用者の早期在宅復帰をめざす先進の設備を備えたリハビリセンターあゆみ。3,344平米もの広大な敷地の中には同じ社会福祉法人の特別養護老人ホームなど、全4棟の施設が広がっている。勤務するスタッフの数も4施設で200名を超える大所帯となっているが、勤怠管理や給与処理を行う総務課の人員はわずか5名だ。同センターには医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護職員、看護師など様々な職種のスタッフが勤務し、さらに多様な資格や勤務シフト、給与体系などに分かれている。そのため給与処理は大きな負担になっていた。

「もともとは別のメーカーのソフトを使って1施設70～80名の勤怠管理・給与処理を行っていました。しかし4施設を一括して管理することになり、処理対象のスタッフの数は一気に200名に。時間的にも人数的にも手が回らなくなることは自明の理で、この複雑な勤怠管理を処理できるソフト、システムを探し始め、最初にたどり着いたのが『就業管理クロノス』でした」(副施設長 谷智之氏)

まずは『就業管理クロノス』(当時は『就業管理たんぽぽ』※5)と『テレタイムZaion』を導入し、『PCA給与X』と連携。さらに現在は『PCAクラウド』の『PCA給与X』と『テレタイムX』(タイムレコーダー)を連携させた「食券発行+給与からの食費天引き」も導入している。給与明細は『Web給金帳』を利用している。

「大掛かりなシステム変更ですが、一つずつ新しいソフトを導入していったのでスムーズに稼働できました。一つのソフトについて徐々に知識を取り入れることができたので、総務課も各現場も問題なく導入できました」(総務課 副主任 西澤美穂氏)

導入後の効果

○勤怠管理の効率化で総務課は仕事の精度が向上。各職員・スタッフは自己管理ができる様に

リハビリセンターあゆみが現在の勤怠管理システムを導入したことで、メリットは大きく2つある。勤怠管理の効率化によって総務課全体の仕事の質が向上したことと、スタッフが自分で実働時間や休暇を申請するようにしたことで、労働時間の自己管理ができるようになったことだ。

まず勤怠管理の効率化については「PCAのシステムによって、総務課本来の仕事ができるようになった」と評価している。同法人では正規職員だけでも定時が20種類あり、給与も月給制と時給制の他、年俸制など多様化している。24時間365日絶えず人が働いており、タイムカードを一斉に締めることさえ難しい。総務課の中に、各スタッフのシフトをほぼ暗記している職員がおり、その職人芸のようなスキルに頼っていた部分も大きかった。

また、スタッフが自己管理できるようになった点については「紙で処理していた時は、不明点があるとそのスタッフがいる時間を見計らって電話し、この日は有給でしたか?」といちいち確認していました。でもよく考えたらこのような確認作業は総務本来の仕事ではなく、確実にそろった勤怠データがあった上で、それを正確に計算し処理していくことが本来の仕事だと考えたのです」(西澤氏)

そこで『テレタイムZaion』によって職員やスタッフ自らが実働時間や休暇を申請できるようにした。そのデータは『PCA給与X』と連携されており、そのまま『Web給金帳』へと送られる。総務課は無駄な入力や確認作業を減らすことで、より精度の高い勤怠管理・給与処理を行えるようになった。

「勤怠管理・給与処理の仕組みを見直したことのメリットは、総務課の負担を減らすこ

とだけではありません。スタッフが自分の実働管理をすることで、働く時間の自己管理にもなっています」(谷氏)

『Web給金帳』によって給与明細を袋詰めにする作業もなくなった。以前は半日かけて袋詰めし、各スタッフがいる時間に手渡ししていたが、それぞれ勤務時間が異なるため全スタッフに渡し終えるまでに相当の時間がかかっていた。このような時間の無駄も大きく解消できている。

○ICカード食券発行システムで、食堂のメニューも一気に増加。お昼の楽しみが増えた

200名を超えるスタッフが働く同法人では、職員用食堂の食券・食費の管理にも苦労していた。食堂で食べた昼食費は給与から天引きしていたが、「この日は食べてないのに引かれている」「その日は確か有給だった」と実際のデータとの相違が生まれていた。これを解決するために用いられたのが、『テレタイムX』と『PCA給与X』の連携による「食券発行+給与からの食費天引き」システムだ。

①各スタッフはその日に食べたいメニューをあらかじめ登録入力→②そのデータは総務課と厨房スタッフで共有し、厨房側はそれを基に調理→③昼食の時間になると食堂にきたスタッフはICカードを『テレタイムX』にかざして食券を発行し、食事をとる→④実食のデータは『PCA給与X』に送られ、ミスなく確実に処理される。

「以前は実食データの確認だけでも毎月時間を費やしていましたが、今は、ピッとかざす=ちゃんと食べたということですから、確認処理を大きく軽減できました」(西澤氏)

「以前は総務課と食堂が距離的にも近かったのですが、現在は離れてしまったため細かな連絡を取り合うのが難しくなりました。このような距離の問題もPCAのシステムによって解消できました。各スタッフの入力した食べたいメニューのデータを共有フォルダに置き、厨房スタッフはそれを見て調理できます。そのため紙データの頻繁なやり取り



職員食堂



ICカード食券発行システム

システム概況図

【メリット①】

『PCA給与X』×『就業管理クロノス』『テレタイムZaion』『テレタイムX』
ICカード食券発行+給与からの食費天引きシステム

①職員は、食べたいメニューをあらかじめ登録。

総務課と厨房で登録データを共有。オーダー数を早めに把握できるので、食材の無駄を軽減できる。



②食堂へ来たら、ICカードを『テレタイムX』にかざす。

『テレタイムX用プリンター』から食券が発行される。

情報は『PCA給与X』へ転送される。

テレタイムX
(タイムレコーダー)



・就業管理クロノス
・テレタイムZaion

PCA給与X

テレタイムX用
プリンター

食券

③総務課・厨房スタッフの努力と効率化によって、食堂のメニューが1種類から5種類に！



【メリット②】

『PCA給与X』×『Web給金帳』

自分の給与明細を、PC・スマートフォンいつでも確認・出力可能。



PCA
給与X

Web給金帳

【メリット③】

『PCA給与X』『PCA人事管理X』

多様な職種・資格・シフト・勤務体系であるスタッフの給与計算・人事管理に対応。業務の効率化を実現。

PCA
給与X

PCA
人事管理X





「リハビリセンターあゆみ」は、早期在宅復帰をめざし、可能な限り自宅で自立した生活が営めるよう支援していきます。



社会福祉法人 真寿会 HP
http://shiga-shinjyukai.or.jp/

りをする必要もなくなりました。おそらく厨房スタッフも早い段階でメニューを把握することで食材の廃棄を減らすなどの効果も出ていると思います」(谷氏)

食堂の食券発行の仕組みを見直したことや、総務課・厨房スタッフの努力もあり、以前は1種類だったメニューが現在は5種類まで増えた。各スタッフは日替わりで違うメニューを楽しめるようになっている。食券発行システムによって食堂が充実し、働く人が実感できる福利厚生が実現した。

○小さな効果に見えることが、じつは大きな効果へと繋がっている

副施設長の谷氏は、勤怠管理の効率化や食券発行システムの見直しについて、その目的を次のように語る。

「勤怠管理の効率化や食券発行システムの見直しは、一見、小さなことだと思う人がいるかもしれませんが、実際には大きな効果に繋がっていくことです。私たち総務課としては、なるべくコストをかけずに、しかし充実した福利厚生を実現していきたいと考えています。当施設は早期在宅復帰をめざす高齢者がたくさん利用しておられ、家に帰るという目的を達成するためには、スタッフが長期的に高齢者を支援していかなければなりません。そのためにもスタッフが長く働きやすい環境を用意することが私たち総務課の仕事です。ですからお昼を充実させて楽しんでもらったり、安心してもらえる確実な勤怠管理・給与処理は大きな意味を持ちます」(谷氏)

「紙の無駄使いをなくしたり、袋詰めの作業を減らすことで間違っって他のスタッフの給与明細を渡すようなリスクを減らすことができ、二重チェックをなくすることができ

した。複雑な給与計算が必要な業種には違いありませんが、最初に計算式をPCAの方に相談し組んでいただき、それを基にして新しく入職した人の計算式を作っています。そのため大きな問題もなくスムーズに『PCA給与X』を利用しています」(西澤氏)

管理する対象となるスタッフが急に増え、以前ならもし総務側がミスをして顔見知りの同僚だから謝って修正すれば済んだ。しかし規模が拡大し会ったことがないスタッフの勤怠管理・給与処理も行うことになり、「今まで以上にミスは許されない。間違いがあつては絶対にいけない」と強く意識したことも導入の背景にあったという。

今後の課題と展望

今後は『PCA人事管理X』を活用してさらにスタッフの能力開発など人事管理のシステム化の推進や、職員の平均年齢や勤務年数、有給消化率などのデータをスムーズに算出する方法も検討されている。同センターの働きやすい環境を具体的な数字や根拠を基にしたデータでわかりやすく伝えることで、多くの人に安心して入職してもらうためだ。

「ニュースでは介護職の厳しさばかりが伝えられていますが、そんなに世間でいうほどきついだけの仕事ではありません。当法人の場合は給与も含めた待遇面に力を入れており、地元出身の若い人が長く働いているという特色を持っています。今後もさらに定着して安心して働いてもらうためにも、PCAソフトを利用しながらより働きやすい環境を追求していきたいです」(谷氏・西澤氏)

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



一つの地方病院がはじめた
「IT改革」とも呼べるほどの刷新的なIT化。
病院の求める「問題解決能力」に応えた
PCAソフトによって、
安定的でユニークな運用も。

医療法人 明仁会 かないわ病院

石川県内で唯一の児童精神科を持つなど、時代が求める最善の精神科医療を提供し続けているかないわ病院。同病院は情報セキュリティやITシステムにおいても積極的に力を入れており、IT経営を実践した病院として「攻めのIT経営中小企業百選」も受賞している。そのような実績もノウハウも豊富に持つ同病院の厳しい目によって選ばれたのがPCAソフトだ。IT経営が地方の病院にもたらした想像以上の結果、そしてPCAソフトのユニークな運用方法について伺った。

導入システム

- ・ PCA 医療法人会計 with SQL (2CAL)
- ・ PCA 給与 X with SQL (3CAL)
- ・ PCA 人事管理 X with SQL (2CAL)
- ・ PCA 商魂 X with SQL (2CAL)
- ・ PCA 商管 X with SQL (2CAL)
- ・ PCA 減価償却 V.3 with SQL (2CAL)

導入の狙い

- ・ 仮想化によってIT改革と呼べるほどの病院経営を実現。そこに対応できるソフトウェアが欲しい。
- ・ 未収金の管理など、病院ならではの業務を簡単に行ないたい。

導入効果

- ・ PCAソフトなら仮想化にも柔軟に対応。病院側の要求にもフレキシブルに提案。
- ・ PCAソフトの柔軟性とシンプルさを利用して、病院特有の業務も実現。

プロフィール

医療法人 明仁会 かないわ病院

- 所在地: 〒920-0351 石川県金沢市普正寺町9-6
- 設立年月日: 昭和31年4月24日
- 職員数: 143名
- 業務内容: 精神科病院
- 標榜科: 精神科、心療内科、児童精神科、内科、循環器内科
- 病床数: 189床 (指定病床5床)
- 施設基準等: ・保険医療機関 ・石川県指定精神病院
・生活保護法指定病院 ・精神科作業療法承認病院
・精神科デイケア・ショートケア(小規模)承認病院
- URL: <http://kanaiwahp.com>

かないわ病院は、地域に密着したより良い医療を提供します。気になる「心の症状」があればどうぞ当院をご利用ください。当院は皆様のこころの健康に尽力いたします。



病院外観



医療法人 明仁会 かないわ病院
事務長
大西 義則 氏



医療法人 明仁会 かないわ病院
IT管理課 課長
河原 直人 氏

導入前の運用と課題

○IT改革が地方の中規模病院にもたらしたもの

昭和31年、当時の石川県知事が音頭を取り、医師会の有志が集まり設立された医療法人 明仁会 かないわ病院。県内で唯一の児童精神科をはじめとする精神科医療、さらに近隣の住人も利用できる内科を備えた地域になくてはならない病院だ。病床数は189床と決して大規模ではないが、同病院は先進のIT改革を実行し、医療機関におけるIT経営のトップランナーとして多くのメディアで取り上げられている。

やや閉鎖的な環境に陥りやすい病院経営の中で、果敢にIT改革を実行した同病院。その効果は想像以上だったと事務長 大西義則氏とIT管理課 課長 河原直人氏は語る。

「先に、IT改革によって得られた効果からお話すると、人材確保がかなり難しい時代において、若いドクターを増やせたこと。さらに循環器内科を新しく標榜できたことなど、非常に大きな結果が得られています。地方の中小病院、しかも精神科医療が中心となる病院において、このような結果が得られることはとても大きな価値のあることです」(大西氏、河原氏)

○仮想化によってデータの確実な管理とメンテナンスの軽減が可能に

かないわ病院ではまず、デスクトップの仮想化からIT改革に着手した。以前は病院内の各部署にサーバーが散在し、それぞれの部署のクライアントパソコンに患者の個人情報をはじめとする様々なデータが入っている状況だった。

「このままでは大切な情報を確実に守り続けることが難しく、さらにデータのバックアップやメンテナンスにも大きな手間と時間がかかってしまうと考えました。それを解決する方法として、仮想化ならメンテナンスも

軽減でき、データの保存も確実にできると考えたのです」(河原氏)

同病院では河原氏が入職する前から『PCA会計』『PCA給与』が利用されていた。

「PCAソフトはとても長く利用させていただいており、当時は『PCA会計』『PCA給与』をスタンドアロンで処理していました。管理部門はただでさえ少人数で動いていますが、イベントなどと重なるとさらに忙しくなります。そんな環境の中でもPCAソフトでまとめて処理していたので、なんとか対処できている状況でした」(河原氏)

選定のポイント

○選定の決め手は問題解決能力。PCAにはヒューマン・バックボーンがある

かないわ病院では仮想化によって業務の在り方を大きく変えようと決めたときに、再度、PCAを含めたソフトの見直しも行った。その際にはPCA以外のソフトウェアも検討の視野に入っていたという。しかし、ある条件においてやはりPCAがもっともフィットすると判断したそうだ。

「今回の仮想化の導入については、いくつかのベンダーやソフトウェアメーカーなどとも話し合いました。その際、一つの決め手にしていたのは『問題解決能力』です。簡単にいえば、私どもの要求にどこまで柔軟に対応してくださるかどうかでした。私どもはただ効率化を進めたいだけでなく、地方の病院が直面している人材不足を解決したいという思い、さらに病院ですから『止まらないシステム』であることも重要でした。患者さんは止まってはくれません。それに対応できることが条件でした」(河原氏)

いくつかのソフトウェアメーカーの比較において、大前提となるのが同病院の進めていた仮想化にフィットできるソフトである点。ここにもっとも柔軟に対応したのがPCAだったと河原氏は語る。

「もっともフレキシブルに対応できる姿勢を示してくれたのがPCAでした。私どもの条件をよく理解していただき、仮想環境の上でも確実に問題なく動作することも確認しました。その際のPCAの対応を見ていると、ヒューマン・バックボーンがしっかりとある企業だと感じました」(河原氏)

導入後の効果

○医療機関での未収金管理に『PCA商魂X』を応用。シンプルなPCAソフトは、安定的な運用に向いている

同病院では『PCA商魂』『PCA商管』の販売管理ソフトから『PCA医療法人会計』『PCA給与』など多くのPCAソフトを導入している。常に創意工夫をしながら業務を推進している同病院では、『PCA商魂X』『PCA商管X』もユニークな使い方で運用している。その一例が『PCA商魂X』での未収金管理だ。

「私どもは『PCA商魂X』を未収金の管理に応用しています。得意先を患者さんに設定することで、細かなお金の動きを把握することが可能です。未収金管理については、レセプトの機能を使っている医療機関も多いと思いますが、その場合未収金が複数になった場合に柔軟性がなく、結果、確実に管理しにくい場合があります。しかし『PCA商魂X』ならそのような複雑な未収金にも対応できます。また帳票を出力するという点でも、レセプト機能よりもPCAの方が断然いいですね」(河原氏)

河原氏はPCAソフトの特徴として、このような「柔軟性」とシンプルに使えることで得られる「安定性」だと評価している。この柔軟性とシンプルな安定性は、河原氏のみならず他の職員も同じ印象を持っているだろうと語る。

「医療機関の場合、医療系に特化したソフトを使う病院も多いですが、機能が複雑すぎて使う側にとって必ずしもよいことばかりではありません。複雑な入力や操作が求められる場合、見えないエラーが出てしまう可能性もあり、やはりシンプルに扱えること



病院内の様子

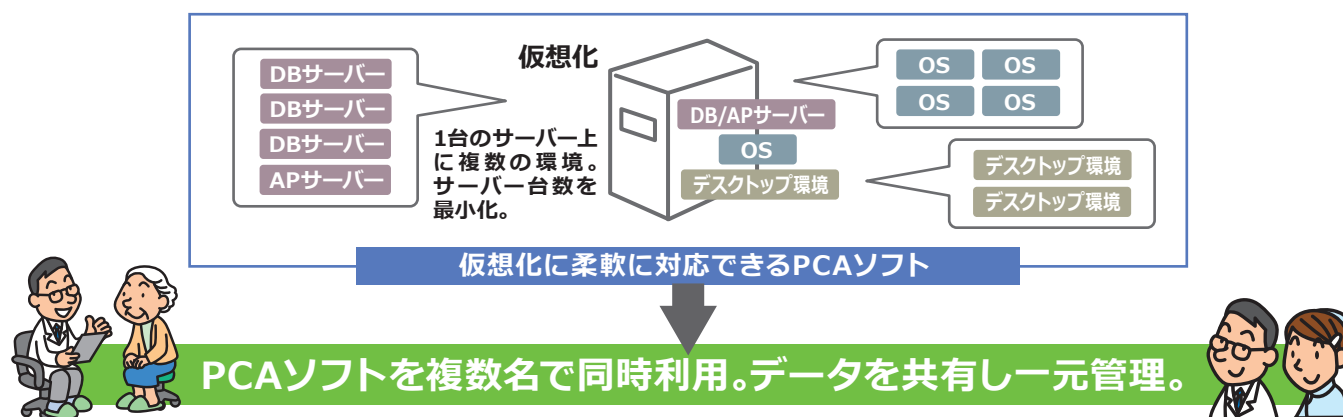


エントランス



ロビー

システム概況図



PCA 医療法人会計 **PCA 減価償却**

入力画面へ順序に沿って操作・入力することで、頻繁に改正される病院の会計準則に準拠した処理が可能。

PCA 商魂X

得意先を患者にすることで、未収金を管理。複数の未収金にも対応。

PCA 商管X

在庫管理を医療材料の管理に応用。

PCA 人事管理X PCA 給与X

「職員の可視化」によって、急性期の患者でも迅速に対応できるよう医師・看護師・職員・スタッフを管理。



医療法人 明仁会 かないわ病院 HP
http://kanaiwahp.com

はとても大事な点だと考えています。そういう点でもPCAは感覚的に使いやすいのではないのでしょうか。このシンプルさを活かして、『PCA商管X』は医療材料の管理に使っています。普通に問題なく使えていますよ」(河原氏)

○わかりやすい操作で、確実な会計準則へと導いてくれる『PCA医療法人会計』

以前から『PCA会計』を利用してきた同病院では、仮想化のタイミングで『PCA医療法人会計』へと切り替えた。

「切り替えてからまだ1年弱の時間しか経っていませんが、問題なく使えています。この問題なく使えるという点が大事で、安定感、医療に携わる私たちにとって大きな意味を持ちます。『PCA医療法人会計』では目の前にある画面、入力順序に沿って操作・入力していくことで、きちんと会計準則に準拠した処理ができます。病院の会計準則は割りと頻繁に改正されます。そのため一般的な会計ソフトの場合は、そのギャップを埋めていかなければならないのですが、『PCA医療法人会計』ならその必要はなくスムーズに業務を遂行できます。操作に関しても他の職員から特に不満の声はなく、ほとんどの人はすぐに慣れて、すんなりと入力できるのではないのでしょうか」(会計担当 表氏)

○『PCA人事管理X』による「職員の可視化」

同病院では『PCA人事管理X』を、これからの病院経営にとって重要な「職員の可視化」へと結び付けようとしている。そこには現在の精神科病院が抱えている問題を解決したいという事情もある。

「厚生労働省の方針としては精神科の療養病床を減らし、なるべく患者さんが社会の中で治療していける環境を作ろうとしています。つまり慢性期の患者さんに対応していくことが多かった私どもに、急性期の患者さん対応も今まで以上に求められることとなります。その際に、迅速に対応するためにも医師・看護師・職員・スタッフの管理をスピーディーかつ確実に行う必要があります。そのためにも『PCA人事管理X』を上手に運用していきたいですね」(河原氏)

今後の展望と課題

○医療業界に新しい価値と利益を生み出し、そして患者さんへのサービスへ還元したい

積極的なIT改革プロジェクトを開始して約2年経った同病院。新しいドクターの採用、新しい標榜科目が増えただけでなく、コメディカルスタッフの平均年齢も4.5歳下がるなど職員の若返りも実現できたようだ。

「この地域に長く在り続けて、良質な地域医療を提供し続けていくこと。そして患者さんの満足に繋げていくことが私たちの最大の目標です。そのための改革の一つがIT経営で、それが想像以上に大きな力を発揮しました。今後も協力いただいた他のベンダーやメーカー、PCAを含めた仲間とともに、医療業界に新たな価値と利益を生み出せるような革新を行っていきたいです」(大西氏、河原氏)

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



ますます高まる在宅医療のニーズ。
PCAの無床クリニック向け
電子カルテ・医事会計システムなら、
医療現場の実情にスピーディな対応が可能

医療法人 小さな診療所

福岡市で訪問診療に特化した医療を提供している医療法人 小さな診療所。全国でもまだ少ない、小児の訪問診療にも力を入れており、365日24時間体制で医師やナース、メディカルスタッフが慌ただしく働いている。そんな同法人の医事会計をよりスムーズに行うために導入されたのが『PCA HyMarks Clinic』だ。PCAの先進的な無床クリニック向けシステムが、実際の医療現場でどのように活用されているのかを伺った。

導入システム

・ PCA HyMarks Clinic (7CAL)

導入の狙い

- ・電子カルテ・医事会計システムへの入力の変更履歴を残したい。
- ・在宅医療に対応したモバイル機能が欲しい。
- ・当診療所にもっともフィットしたシステムが欲しい。

導入効果

- ・入力の変更履歴を確実に残し、電子カルテの真正性を保つ。
- ・患者の自宅や介護施設などでの入力が可能で、患者自身も安心して診療を受けられる。
- ・少数精鋭で稼働しているクリニックにとって魅力的な正確性とスピード、柔軟性。
- ・機能強化を前向きに行ってくれるPCAの対応力によって、在宅医療に合う運用形態に。

プロフィール

在宅療養支援診療所

医療法人 小さな診療所

- 所在地: 〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚1-27-7
- 所長: 京極 新治 (医学博士)
- 設立: 平成15年6月1日
- 従業員数: 20名
- 業務内容: 在宅医療
- URL: <http://www.chiisana.jp>

地域に密着した医療を目指しています。

『在宅医療』、『障害福祉サービス』を行っています。

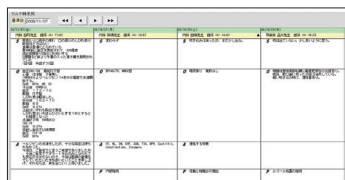
病気はある程度良くなったのになかなか家に帰れないという方がたくさんおられます。その理由は、必ずしも住居や介護者、金銭面といった具体的なものではなく「何か起こったらどうしよう」という漠然とした不安だという調査結果があります。そのような不安を和らげる最も良い方法は「まずは家に帰ってみてください。それで何かあったらいつでも連絡下さい。何とかしますよ。」といったような、情緒的支援といわれています。

当診療所は、在宅で安心して療養生活が送れるよう、心身両面から支援を行います。

在宅診療所がよく使う 便利機能

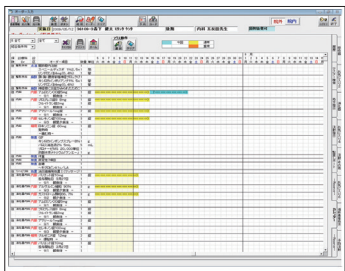
Point① 慢性疾患に対応した画面参照

カルテの記載やオーダを時系列で参照することができます。在宅医療では慢性疾患の患者様が多いので状況の推移をご確認いただくのに便利です。



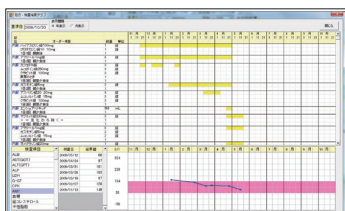
カルテ時系列

オーダの履歴をカレンダー形式で参照できます。薬がいつ切れるかなど視覚的にわかりやすく表示します。



オーダ入力

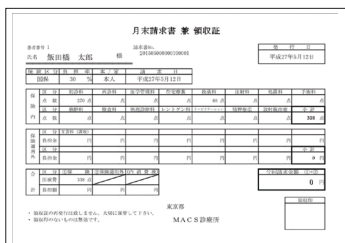
いつ何を処方して検査結果がどう推移したかを時系列でグラフ表示することができます。



処方・検査結果グラフ

Point② 月末とめ会計

ひと月分の会計を一括で修正、計算でき、効率的に請求業務を行うことができます。ひと月分の請求書をまとめて印刷可能です。



月末請求書 兼 領収証

導入前の運用と課題

○訪問診療だからこそ、「誰がいつ入力したかの履歴」を100%確実に残せるシステムが必要

医療法人 小さな診療所は、現在ますますニーズが高まっている訪問診療・在宅医療に特化したクリニックだ。とりわけ全国でも数少ない訪問診療での小児医療にも力を入れており、医師やナースは昼夜を問わず24時間体制で患者の自宅や介護施設などでの診療を行っている。そのため医師・ナース・コメディカルスタッフが全員そろって打ち合わせる機会や時間を持ちにくいという事情があった。

どの医療機関でも電子カルテや電子レセプトへの入力業務には重大な責任があるが、在宅診療の場合は、スタッフ全員が一堂に会する時間を設けにくいという点からも、さらに入力業務の重みが増す。しかし以前のシステムでは「入力履歴」について十分な環境ではなかったと、事務長 京極幸司氏は当時を振り返る。

「以前使っていたシステムはドクターが開発に携わっていたシステムで、よい部分もたくさんありました。しかし一番の問題は、入力した時刻や変更の履歴が残らないという点でした。履歴が残らないということは、上書きが簡単にできるということです。しかも誰が入力したかもわからない……。これではカルテとしてのデータ保守機能を満たしていないと考え、新しいシステム導入を検討し始めました」(事務長)

さらに訪問診療のため患者の自宅や介護施設など、外部でも入力できるモバイル機能もぜひ欲しかった点だという。

「当診療所の場合は、ほぼ100%外部での診療です。昼間に診療所に戻ってきても、また次の診療に出なければなりません。以前は入力するために診療所にいちいち戻らなければならない状況でしたが、これでは時間もかかってしまい、患者さんをお待たせしてし

まいます。患者さんのためにも、外部からスムーズに入力できるモバイル機能は譲れないポイントでした」

選定のポイント

○決め手は『PCA HyMarks Clinic』の内容と、機能強化を含めた対応力

①電子カルテ、電子レセプトへの入力履歴を100%確実に残せること。②患者の自宅や介護施設など、外部からでも入力できるモバイル機能。この2点に加えてもう1点、③スムーズなネットワーク環境で利用できることも、選定において気になるポイントだったと事務長は語る。

「新システム導入については、PCA以外の製品も検討し比較しましたが、『スムーズなネットワーク環境』という点では、PCAのシステムが一番優れていました」

さらにこの3点以外に、もう一つ大きなアドバンテージがPCAにはあったという。それは在宅医療の運用に合わせた機能強化を前向きに行ってくれているという点だった。

「当初システムの検討を始めたときに、この診療所の運用に100%フィットするシステムはないだろうと考えていました。実際にPCA以外のメーカーからは、私たちが望む運用に合わせるのは難しいと言われました。しかしPCAは『可能な限り機能強化を行い在宅医療に合う良いものを作っていきます！』と言ってくれました。コストについてはどのメーカーも大きな差はなかったのですが、PCAのこの一言は大きな決め手になりました。『PCA HyMarks Clinic』の内容と対応力に期待したのです」

導入後の効果

○リモートサポートが標準装備。わかりやすく操作方法を問い合わせでき、疑問点も聞き放題

2015年1月より『PCA HyMarks Clinic』を本稼働し、取材時はまだ数カ月しか経っていない状況だったが、すでにいくつかの効果が出ているという。実際に入力業務にもっとも多く携わっている医療事務担当者からは、PCAのサポート力への評価が高い。

「PCAにしてからは、サポート力の高さを実感することが多いです。まず安心して問い合わせできるのがうれしいです。以前のシステムは問い合わせる電話の回数に制限があったのですが、PCAならいつでも気兼ねなく問い合わせできます。さらに『リモートサポート』があるのはとても心強いです。同じ画面を見ながら会話できるので、疑問点も伝えやすく解決方法もわかりやすいです」(医療事務担当者)

○電子カルテのスピーディーな操作、ミスを削減しやすい登録方法……。現在の医療機関が抱える問題をカバーできるシステム

当初のシステム変更のきっかけになった「入力履歴」については、現在のところ、履歴を遡る必要のあるトラブルが発生していないため、特段大きなメリットは感じていないものの、現在約150名に上る患者のデータをしっかり守り、管理できている実感は大きいという。特に電子カルテの入力・管理において、そのように感じており、以下の点が高く評価されている。

【1】画像を貼りつけやすく、重要な患者情報をミスなく確実にスピーディーに確認・共有できる。

『PCA HyMarks Clinic』のカルテは、レントゲンなどの画像や、他の医療機関から渡されたメモや手紙のPDFを簡単にカルテに貼り付けることができる。カルテ入力も入力画面とビュー画面の2種類に設定でき、医師は初期画面を入力画面に、事務担当者はビュー画面に設定しておけば、各自が必要な入力画面まで無駄な操作をせずにダイレクトにたどり着ける。

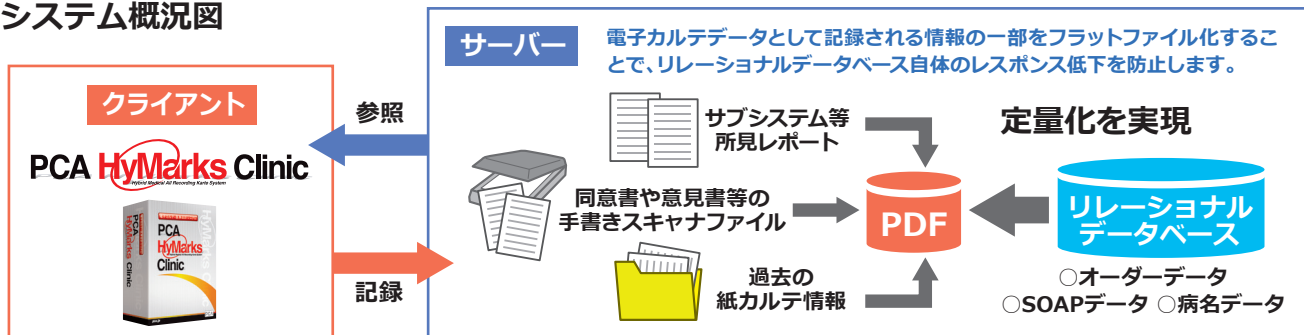
Point③ 充実した書類テンプレート

エクセルやワードで作成した文書を電子カルテにセットできます。また、在宅医療で必要となる様々な書類のテンプレートをご用意しております。患者情報や病名、カルテなどの内容は自動でセットされます。

- ・主治医意見書
- ・居宅療養管理指導書
- その他多数

診療情報提供書

システム概況図



レスポンス低下を招くことなく、何年経っても重くならないハイブリッド型電子カルテ

過去のカルテデータや問診票・同意書などの書類をPDFファイルとして管理することでデータベースのデータ量を一定に保つシステム。そのため何年たってもスピーディーに利用可能



在宅医療

在宅療養支援診療所

医療法人 小さな診療所

訪問診療・往診・電話対応・緩和ケア
などご自宅で処置や介護方法について
の説明、指導を行います。



障害福祉サービス

医療型特定短期入所
小さなさんかく

在宅で療養されているお子様をお預
かりし、ご家族に休息できる時間をと
っていただいております。



診療所内の様子



いつでもすぐ対応できるよう、緊急
出動用のカバンが常備されている。



診療に使う車が並ぶ駐車場

「医療機関は今なお紙のやりとりが多いで
す。しかしこの機能によって紙のカルテが分
厚くなる心配やメモの紛失などのリスクもゼ
ロになりました」(医療事務担当者)

**【2】オーダー内容をボタンでパターン化で
き、年々複雑化する医療の現状にあった操
作が可能**

患者によっては注射が数種類必要なケ
ースや、投薬のセットが複雑になる例も多々あ
る。その都度入力する場合はミスの危険性
もあるが、『PCA HyMarks Clinic』ではオー
ダー内容をボタンにしてパターン化できるた
め、正確なオーダーが可能だ。ボタンの位置
も柔軟に配置できる。さらに医師からは「お
気に入りボタン登録」が便利だという声も寄
せられている。一般的な電子カルテの場合、
この操作にたどり着くまでに時間がかかって
しまいがちだが、『PCA HyMarks Clinic』で
はボタン操作まで簡単に到達でき、ボタンの
自由な配置やグループも作成でき、ますます
多様化・複雑化する医療内容に照らし合わせ
た内容になっている。

**【3】サマリーやカレンダー機能など、現在
の医療現場の実情に沿った内容**

カルテのサマリー機能は簡潔に患者の情
報を確認できる。ここにアレルギー情報など
注意事項をまとめることで、即座にそれぞ
れの患者に沿った対応が可能だ。カレンダー機
能については、過去の分も全て確認できるた
め、非常勤のナースにとっても安心だ。規模
を問わず、現在、多くの医療機関ではスピー
ディーな対応力と、フレキシブルな人材配置
が大きな課題になっているが、『PCA Hy-
Marks Clinic』ではそのような現在の医療機
関が抱える問題にも対応できる。

今後の課題と展望

○PCAの柔軟な対応力で、他のク
リニックのためにもさらに優れた
電子カルテ・医事会計システムに

本稼働して数カ月のため、『PCA HyMarks
Clinic』をまだ使いこなせていないと語る、所
長 京極新治氏。しかしこの間、気付いた点や
改良してもらいたい点などは、すべてPCAの
担当者に伝え、その内容も共有しているそう
だ。

「実際に使ってから気付いた点をPCAの担
当者にすでに伝えています。今後『PCA Hy-
Marks Clinic』を使う他の在宅医療を行うク
リニックの役に立ててもらえればと考えて
います。もともとの選定のきっかけも他社が
機能強化はできないと断る中、『他のクリニ
ックのためにもぜひ良いシステムにしたい』
と柔軟な機能強化に応じてくれたPCAの対
応力でした。電子カルテ・医事会計システムで
は後発にあたるPCAだからこそ、ぜひ当診療
所の経験を活かしてもらいたいと考えてい
ます」(事務長)

「本稼働して日数が経つにつれ、また新た
な角度での疑問点なども湧いてくると思い
ます。例えば使い始めてから段階に応じた使
いこなすためのセミナーなどがあるととて
も良いと思いますね」(医療事務担当者)

当診療所では最大5%の税額控除ができ
る生産性向上設備投資促進税制も利用し
て、新システムへと切り替えている。「在宅医
療は365日24時間対応ですから、さらに人材
確保は難しいです。その足りないマンパワー
をPCAによって補っていただけることを期待し
ています」

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。



医療機関ならではの複雑な勤怠管理を自動化。
『PCA給与 X』『PCA人事管理 X』の連携により、
安全管理・人材確保にも勤怠データを活用

同友会グループ

先進の人間ドックを提供する医療機関、介護付有料老人ホームを運営する同友会グループ。各地に健
診センターを開設し、医師・看護師・診療放射線技師・臨床検査技師・事務スタッフなど、さまざまな職
種や働き方のスタッフが従事している。これらの複雑な勤怠管理のために導入されたのが『PCA給与
X』『就業管理クロノス※1』『Zaion※2』だ。新たに『PCA人事管理X』も導入。医療機関・介護施設ならで
はの複雑な勤怠・人事管理をどのように効率化・確実化できたのかを伺った。

導入システム

- ・ PCA 給与 X with SQL (2CAL) ・ PCA 人事管理 X with SQL (2CAL)
- ・ PCA 会計 X システム B
- ・ 就業管理クロノス ※1 ・ Zaion ※2 ・ テレタイム X-F ※3

導入の狙い

- ・ 勤怠管理の仕組みを一新し、給与処理にかかる負担や時間を軽減したい。
- ・ 残業など過重労働を未然に防止したい。
- ・ 人事管理もデータ化し、ミスのない人事管理を行いたい。

導入効果

- ・ 『PCA給与X』『就業管理クロノス』『Zaion』によって、勤務時間をほぼ自動集計。給与計算にかかる負担と手間を大幅に削減。
- ・ 客観性のある勤怠データを得ることで、残業管理が可能に。スタッフの重労働の防止にも繋げられる。
- ・ 『PCA給与X』と『PCA人事管理X』を連携させることで、転記ミスを防止。人事データを正確に同期できる。

プロフィール

同友会グループ

- 所在地：〒135-0022 東京都江東区三好 1-7-14
- 設立：1959 年
- 従業員数：650 名
- 資本金：4,500 万円
- 主業種：健康診断、人間ドック
- URL：<http://www.do-yukai.com/>



□事業内容：

医療法人社団同友会は、予防医学から地域医療・高齢者医療にいたるまで、施設ごとに特色のある運営を行っています。またいち早くMRI、CT、心臓超音波検査など最新鋭の医療機器を備え、特に予防医学領域では、年間約 50 万件にのぼる健康診断・人間ドック・保健指導などの実績を有します。

※ 1) 2) 3) 『就業管理クロノス』と『Zaion』と『テレタイム X-F』は、クロノス(株)の製品です。



医療法人社団 同友会
総務本部 総務人事部 副部長
高谷 洋史 氏

導入前の運用と課題

○勤怠管理の負担を軽減でき、客観性のある給与システムに

現在、予防医学への関心が高まっている。いち早くその重要性を認識し、先進の人間ドック・健診機関・介護施設を開設してきたのが同友会グループだ。同グループは7つの医療機関と介護付有料老人ホーム、さらに健診業務をサポートする部署などが控え、約700名のスタッフが従事している。その中には医師・看護師・検査技師・事務などのさまざまな職種、さらに常勤・非常勤などの多様な雇用形態が含まれており、加えて夜勤手当・資格手当など医療機関ならではの手当も加わる。また介護付有料老人ホームでは医療法人とは異なる勤務形態のため、同法人の勤怠管理は非常に複雑だ。以前はこれらを紙ベースで処理し、非常に負担が大きかったと総務本部 総務人事部 副部長・高谷洋史氏は振り返る。

「祝日などの関係で、給与処理の時間が非常にタイトになる月もあり、残業もありました。またタイムカードはそれぞれの部署長に任せた運用で、給与計算のシステムと連動しておらず、実態は自己申告制でした。そのため勤怠データに客観性がなく、この点も改善したいと考えていました」

同法人の場合、給与計算そのものは『PCA給与』を長年利用しており、勤務形態や資格に応じた複雑な給与計算は、問題なく処理できていた。

「『PCA給与』は導入時に価格も仕様も他社と比較し、もっとも使いやすいと感じ、実際に便利に活用してきました。そのため『PCA給与』と連携できる勤怠管理のシステムを優先して検討しました」

導入後の効果

○確実な残業管理ができ、医療機関としての労働安全管理にも大きな効果

同グループでは現在、次のような勤怠管理・給与システムを運用している。①13カ所のクリニックや部署で『Zaion』で勤怠管理。スタッフは出退勤時にIC付き社員証を『テレタイムX-F』(タイムレコーダー)にかざす。②出退勤データは『就業管理クロノス』に反映され、③『PCA給与X』と連携させることで、出退勤データから複雑な給与計算、支払いまでの流れをほぼ自動化。

「以前は電卓をたたいて残業時間の計算をしていましたが、現在は最後にチェックをするのみ。飛躍的に勤怠管理を効率化できました。時間を短縮できたわけではありません。PCAの給与システムを導入したことで、非常に価値のある副次的な効果も得られたのです」

高谷氏が示す副次的な効果とは次の2点だ。まずIC付き社員証を一人ひとりのスタッフに配ることで、以前は部署長に委ねていたタイムカードの管理を、『テレタイム』で集約した客観性を持つ確実な勤怠管理へ改善でき、スタッフの意識も高められた点。そしてもう1点は、客観的な勤怠データをチェックできる時間的な余裕が得られたことで、残業の管理もしやすくなった点だ。

「部署ごとの客観的な勤怠データを確認することで、それぞれの部署の残業時間が明確にわかります。私どもは医療福祉に従事しており、労働安全衛生の面からも過重労働を未然に防ぐ必要があり、残業管理の面でも効果は大きいといえます」

○中小企業でも導入しやすい 「わかりやすく、安い」ソフトウェア

「わかりやすさ、使いやすさ」で選定されたという『PCA給与』だが、10年以上使用した今も、その印象は変わらないそうだ。給与や賞与の入力はもちろんのこと、社会保険や年末調整の処理、さらに賃金台帳や勤怠台帳など豊富な管理帳票も揃っており、活用用途も広く利用されている。また、多様な職種・勤務形態・手当などの複雑な給与計算についても、あらかじめマスター登録しておくことで計算ミスを防ぐことができ、多種多様な勤務形態に十分対応できているそうだ。高谷氏は、当時の『PCA給与』の選定理由としてコスト面も大きかったと語る。

「当グループはスタッフの数は多いですが、規模は一般の中小企業と変わりません。ご存知のように日本の企業の9割

は中小企業です。そんな小さな企業でも手の届く価格というのは大きなメリットです。じつは『PCA人事管理X』の導入時に、他社の人事管理ソフトの見積もりを取り寄せましたが高かったですね。経営者の目線に立った『わかりやすく、安い』というのは、PCAのポリシーの一つでもあるのかなと感じています」

なお『PCA給与X』は、2013年8月に『パッケージソフトウェア品質認証制度』の認証を受けている。これはパンフレットやマニュアルなどに対して、実際のソフトの機能や品質が説明通りに正しく実装されていることを認証する制度だ。この点について高谷氏は次のように評価している。

「当グループの場合は長年にわたり『PCA給与』を使用してきたため、あらためてパンフレットやマニュアルとの差を感じる機会はありませんでした。ただし、

システム概況図

■『PCA給与X』 勤怠データの自動集計 → 給与データに反映



■『PCA人事管理X』 人事データを一元管理

今後、『PCA人事管理X』を本格稼働させることで、次のような人事管理が可能に・・・



どのクリニックに、どのような資格を持つスタッフが、いつ何名、どのようなシフトで働いているかを把握



スタッフの異動履歴・最終学歴・採用ルートなどもデータで容易に検索・抽出ができ、優秀な人材の採用にも役立てられる



PCA人事管理X

ソフトウェア業界がこのような認証制度を設けていることは、使用する立場からは安心ですし、よい動きだと考えます」

今後の展望と課題

○確実な人事管理の実現のために『PCA人事管理X』も導入

同グループでは現在、『PCA人事管理X』を本稼働に向けて準備しているところだ。スタッフが増え、勤怠管理同様に人事情報もデータ化の必要性を感じていたという。以前はほぼ紙ベースでの管理だったが、医療機関だからこそ人事は非常に重要であるとの視点から部署も再編成し、『PCA人事管理X』の導入も決めた。

「あらためて人事の重要性を当法人内でも議論し、そのためには基礎データを確実に管理することが前提になると考えました。医師や看護師、検査技師などの異動履歴・最終学歴はもちろんのこと、優秀な人材確保のための採用ルートを検討するためにも、データベースにして、欲しい情報を抽出・検索できる機能は大きな意味を持ちます。また、どこの部署やクリニックに、どんなスキルを持つ人材がどのくらいいるのか。それらを瞬時に把握できるようにしたかったのです」

『PCA給与X』と連携できる点も決め手の一つだったという。スタッフの基本情報や給与データ、社会保険・雇用保険のデータなどを『PCA給与X』と『PCA人事

管理X』で同期することで、転記ミスを防げる。特に医療機関・介護施設の場合は、頻繁にスタッフの入職・退職の処理が必要となり、転記ミスを防止できることは大きな意味を持つ。

○スタッフの対応でもPCAを評価

『PCA人事管理X』も『PCA給与X』と同様に、専門知識がない人にも扱いやすいソフトだと語る高谷氏。また、PCAの営業・サポートセンターのスタッフにも高い評価を与えている。

「導入時にはしっかりとサポートしてもらいました。当グループを担当しているPCAの営業スタッフ、そしてサポートセンターのスタッフなど、PCAのスタッフは接しやすく相談しやすい雰囲気の人が多いです。こちらの一員として動いてくれている心強さを感じます。我々のような小さな法人や中小企業にとって、やはりサポートの質はその後の運用を大きく左右すると思います。ソフトウェアという意味のソフトだけでなく、人的サービスという意味でのソフト面でもPCAを評価しています」

予防医学をいち早く推進してきた医療法人社団同友会は、年間約50万件にのぼる健康診断・人間ドック・保健指導などの実績を有している。立ち寄りやすい駅前にクリニックを開くなど、働く人の健康をサポートし続けている。今後クリニックが増えた場合でも、迅速な人事・勤怠の管理が行えるよう、PCAソフトを今後も有効活用していきたいと語る。

人間ドック、有料老人ホーム専門 同友会グループ



同友会グループ HP
<http://www.do-yukai.com/>

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。

2014.05.01



医療機関ならではの
複雑な人事管理を一元化。
入力ミスを防ぎ、詳細条件での
人事データ抽出が容易に

医療法人社団 あんしん会 四谷メディカルキューブ

先進の機器を擁し、低侵襲オペやハイレベルの人間ドックなどの高度先進医療を提供している四谷メディカルキューブ。都内最大級の PET 検査施設を有し、患者さんは日本全国から訪れてくる。この先進のメディカルセンターを支えるのが 200 名以上のスタッフだ。ドクター、ナース、コメディカルスタッフなど職種も資格も異なるスタッフの管理は容易ではない。それを解決するために導入された『PCA 人事管理 9V.2』によって、複雑な人事管理がどのように処理されているのかを探った。

導入システム

- ・ PCA 人事管理 9V.2 with SQL (3CAL) ・ PCA 会計 X with SQL (5CAL)
- ・ PCA 減価償却 V.3 EasyNetwork

導入の狙い

- ・ 職員数が大幅に増え、従来の「Excel® データ + 紙媒体」での管理に限界。
- ・ 多種多様な職種・資格・経歴を持つ人材が集まる医療機関のため、職員データの抽出を簡単にしたい。
- ・ Excel® データでは異動の履歴を上書きするため、正確な異動履歴を得るのに時間がかかる。

導入効果

- ・ 『PCA 人事管理 9V.2』によって人事情報をデータへ一元化。人事管理スタッフは以前と同じ人数で処理が可能。
- ・ マスターを自由に増やすことができ、詳細な条件で職員を容易に抽出・検索できる。
- ・ 履歴管理機能があるため、異動の履歴だけでなく職務経歴や給与情報も時系列で確認できる。

プロフィール

医療法人 あんしん会 四谷メディカルキューブ

- 所在地：〒102-0084 東京都千代田区二番町 7 番 7
- 社員数：250 名
- 開設：2005 年 5 月
- 診療科：総合内科、消化器内科、循環器内科、泌尿器科、脳神経外科、外科、内視鏡外科、手の外科、減量外科、婦人科、女性泌尿器科、乳腺外科
- 病床：19 床
- 施設：地下 1 階地上 7 階建て
- 資本金：630,000 千円
- URL：<http://www.mcube.jp/>

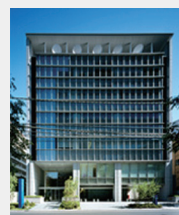
【基本理念】最高の安心と最新の医療

【使命】

私たちは都市型先端医療センターとして
最高の安心と最新の医療を追求し、
医療を革新することを以て全ての人々に貢献します

【行動指針】

- 少数精鋭を旨とし、全ての職員が最高のプロフェッショナルを目指します
- 施設を訪れる全ての方に満足していただける上質な安らぎを志します
- 安全性と効率性を同時に追求し、洗練され品質の高い経営に努めます



クリニック外観

[写真上段]
四谷メディカルキューブ
経営管理部 管理課 課長
矢政 健一 氏

[写真中段]
四谷メディカルキューブ
経営管理部 管理課 副主任
大竹 範之 氏

[写真下段]
四谷メディカルキューブ
経営管理部 管理課
溝口 陽子 氏



導入前の運用と課題

○職員が増え「Excel® + 紙媒体」の管理に限界が

四谷メディカルキューブが開院したのは 2005 年 5 月。当時の人事管理は Excel® + 紙媒体での管理だった。当時は医師や看護師、医療事務などを含めスタッフは約 100 名。人事管理ソフトを導入しなくても、なんとか Excel® + 紙媒体で処理できていたという。

「しかし 2、3 年前からスタッフが一気に 200 名を超えるようになりました。そのため従来のやり方では追いつかず、さらに問題点も見えてきました。従来の方法では人事異動などがあるとそのたびに上書きすることになり、後から以前の情報を追うことが困難でした。また名前や住所・生年月日と、職務経歴や学歴が Excel® データと紙とに分かれていたので、これらも一つにまとめようと思いました」（経営管理部 管理課 課長 矢政健一氏）

○『PCA 会計』への好評価あってこそその切り替え

同院では以前から『PCA 会計』を使用していた。提携している医療機関の多くが PCA シリーズを使用しており、開院時に他社製品との比較検討も行ったが、PCA が最も使いやすかったと語る。「私は以前の職場でも PCA ソフトを使っていたのですが、非常に使いやすい、わかりやすいという印象を持っていました。人事管

理ソフトの選定にあたって、もちろん他社製品との比較を行いました。『PCA 会計』と同じメーカーだというポイントが大きかったですね」（経営管理部 管理課 副主任 大竹範之氏）

2011 年 1 月に『PCA 人事管理 9V.2』を導入。紙媒体からのデータ入力に想像以上に時間がかかり、当時の担当者が異動になるなど本稼働までにはある程度時間を要したが、2012 年 6、7 月に本格的にデータ入力を始め、2012 年秋から現在のシステムへ完全移行した。

導入後の効果

○見たい人事管理データを容易に抽出、瞬時に確認

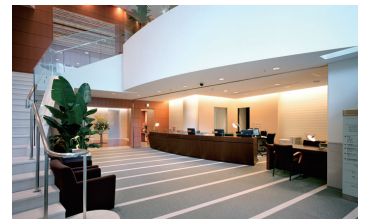
従来のクリニックの常識を超える 200 名余りのスタッフを抱えている同院では、当然スタッフの入れ替わりも多い。「私は当院に入職してきて間もないため、スタッフの顔と名前が一致しないことがあります。『PCA 人事管理 9V.2』では顔写真を登録できるので、誰がどの人かをすぐに検索できるのが大変便利です。また同じ職種でも勤務年数やキャリアによって給与は細かく設定されており、以前の方法だと個人ごとに分けられた紙のフォルダを開いて給与額を確認することになりましたが、今はデータを開くだけで瞬時に基本給などがわかります。また Excel® では 1 行ごとに 1 人のデータを入力していましたが、ついうっかり段を間違えてしまう危険性があります。『P

CA 人事管理 9V.2』は社員情報の登録画面には 1 人分だけの情報しか出てきませんから、誤って次の人の情報を書き間違えるようなミスは発生しません。そういう点では入力ミスの防止にもなりますね」(経営管理部 管理課 溝口陽子氏)

「私の場合、主に会計を担当しているので人事データは閲覧する程度ですが、以前の Excel® データ+紙媒体に比べて、非常にスピーディーに欲しいデータを確認できます。やはり Excel® で作業することが多いのですが、Excel® データにすぐに落とせるところが非常に便利です。『PCA 人事管理 9V.2』では職員それぞれに個人コードを振るのですが、ID と名前さえあれば、いかようにも集計を取ることが可能です。現在は主に男女比や年齢などで集計をとることが多いのですが、『年齢 30 歳、英語が堪能、海外の大学病院での医療従事経験がある』などの条件で抽出を行う

こともできると聞きました。まだそこまで使いこなせていないのが現状なのですが、詳細な条件でのスタッフ抽出が可能な点は、患者さんのニーズが多様化する中で、医療関係者にとって大きなアドバンテージになると考えています」(大竹氏)

「人事管理が Excel® データ+紙媒体から、完全にデータ移行になったとはいえ、紙の保存量が大幅に減ったわけではありません。しかしデータ抽出にかつてのような時間はかからなくなり、時間の効率化という点では成功しています。またセキュリティ面も安心です。Excel® データでもパスワードを使っていましたが、セキュリティをかけられる幅には限界がありました。『PCA 人事管理 9V.2』ではフォルダごとにユーザーのアクセス権を細かく設定できます。なので本来の業務内容や使用の目的に沿った使い方しかできませんから、スタッフの個人情報を守るこ



院内受付



女性専用外来受付



入院施設

システム概況図

【旧システム】
Excel と紙媒体でデータ管理



氏名、住所、生年月日
など Excel に入力できな
かったデータを記入

＜問題点＞
Excel データは上書きのため
正確な履歴管理ができない

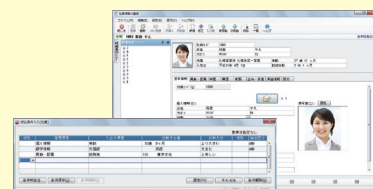


『PCA 会計』で
日々の会計業務をスムーズに管理

【2012 年秋】
『PCA 人事管理』でデータを一元化



社員情報入力画面



絞込条件入力画面

- 詳細条件によって職員を抽出、検索可能
＜例＞ 医師 30～35 歳、男性、英語堪能、留学経験ありで抽出
- 顔写真で職員を確認しながら作業可能
- 1 画面で 1 人の入力画面なので入力ミスを防ぐことが可能
- 細かなアクセス権の設定が可能でセキュリティも万全

とができます。スタッフ数は開院当初から約 2 倍になったわけですが、人事管理については当初と変わらず 3 名。入力しているのは 2 名のままで行えております」(大竹氏)

今後の課題と展望

○多様な職種が 1 箇所に集まる場所での人事管理

『PCA 人事管理 9V.2』が本稼働したのは 2012 年秋。まだ半年しか経過してないため、なかなか使いこなせていないことが最大の課題だと語る。また医療機関ならではの入力したい情報がうまく反映できない場合があるそうだ。「管理項目のマスター登録についてですが、マスター項目を自由に増やすことは可能なのですが、できればより詳細情報を入れたいのです。例えば健診の履歴について、ただ受診したかどうかを入力することは現状でも可能ですが、採血の結果などの詳細も一目で確認できるとさらに便利です」(大竹氏)

「例えば看護師の場合学歴も 4 年制大学・短大・2 年制専門学校・3 年制専門学校など様々です。後から抽出できるように予めマスター登録をしなければならないわけですが、そこをもう少しダイレクトに入力できる方法があると良いですね。また現在は Excel® で学会参加にかかった

費用などを計算しているのですが、年間の経費は決まっているため、これらが簡単に計算できる仕組みがあると便利です。これについては給与・会計との連携が必要になってくる部分でしょうね。看護師がどのような研修を受けてきたのかの履歴も管理できるようにになれば、さらに便利だと思います。これに関しては慣れてきたら徐々に始めていきたい部分です」(溝口氏)

「やはり病院事務には独特の複雑さがありますから、一般企業の人事管理とはまた別の工夫が必要です。病院は 1 箇所に様々な職種の人が集まる場所です。職種ごとに資格も給与体系も勤務形態も違い、入力したい内容も異なります。なので職種ごとの人事データをうまく管理・整理していけるソフトが医療関係者には適していると思います」(矢政氏)

同院で行われている最新の PET 検査は大学病院からの依頼も多く、日本全国でも 3 本の指に入るほどの検査数だ。減量手術では ICE 認定を受けている日本唯一の施設で、年々患者数も増えている。今後は現在アウトソーシングで処理している給与についても、会計・人事管理と連携させることでよりスムーズに処理を進めていくことも検討している。



医療法人 あんしん会
四谷メディカルキューブ HP
<http://www.mcube.jp/>



豊かな生活環境の中で活気ある生活を

介護施設の複雑なシフトを自動的に登録。
勤怠管理から給与計算までほぼ自動化し、
管理部門に時間的・心理的な余裕ももたらす
勤怠管理システム

社会福祉法人京都社会事業財団 介護付有料老人ホーム ライフ・イン京都

京都市西京区の緑豊かな高台に位置する介護付有料老人ホーム「ライフ・イン京都」。同じ法人である京都社会事業財団内には医療機関も多く、緊密な医療連携や 24 時間見守り体制など質の高いサービスを提供している。このような昼夜を問わない介護の現場では、多様な資格を持つスタッフが、様々な勤務体系で従事している。これらの複雑な勤怠を管理するために導入されたのが『PCA 給与』と『就業管理クロノス※1』だ。現在 1.5 人日の管理で 180 名ものスタッフの勤怠管理が実現できている。その成功理由を伺った。

導入システム

- ・ PCA 給与 X システム B ・ PCA 減価償却 V.3 ・ PCA 人事管理 9 システム B
- ・ 就業管理クロノス（300 人制限スタンドアロン）※1 ・ テレタイム X-F ※2

導入の狙い

- ・シフトの種類が多く、確認作業に時間がかかる点を改善したい。
- ・蓄積した5年間の勤怠データをそのまま使っていきたい。
- ・余裕を持った給与事務を行いたい。

導入効果

- ・シフト勤務自動スケジュールソリューションによって、複雑なシフトを自動的に登録・スケジュールリング。
- ・『就業管理たんぽぽ※3』から『就業管理クロノス』への移行なら、勤怠データをスムーズにコンバート。
- ・『PCA給与X』なら、慌てずに焦らずに余裕を持った給与処理が可能。

プロフィール

社会福祉法人京都社会事業財団
介護付有料老人ホーム
ライフ・イン京都

- 所在地: 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
- 施設の設立年月日: 昭和61年11月25日
- 従業員数: 180名
- 事業内容: 介護付有料老人ホーム
- ライフ・イン京都 本館戸数: 226戸
- 併設ケアセンター: こすもす11室／ひまわり71室
- URL: <http://www.lifeinkyoto.com>

□ホーム概要

ライフ・イン京都は、社会福祉法人京都社会事業財団が、京都市西京区桂の地に設置運営する介護付き有料老人ホームです。介護保険制度における「特定施設入居者生活介護」事業者指定を受け、介護が必要となられた入居者に対しては、介護保険法の基本理念である入居者の自立支援を旨とした各種の介護サービスを提供もっています。京都市内を一望する高台に位置し、竹林の緑に囲まれながらも、京都市街への交通の利便性に恵まれた立地条件と協力医療機関である京都桂病院との緊密な連携を基に、ご入居者の皆様の信頼とご協力を得て築かれてきた、豊かな生活環境と28年にわたる運営実績を誇りとしています。

また、平成17年11月にはケアセンターひまわりを増築し、常時介護を必要とされるご入居者にも、安心してお住まいいただけるための介護・看護体制の構築に向けてスタッフ一同全力で取り組んでいるところです。

※ 1)『就業管理クロノス』、2)『テレタイムX-F』、3)『就業管理たんぽぽ』は、クロノス(株)の製品です。



ライフ・イン京都
管理課 システム管理係
國本 勝樹 氏



京都市西京区桂の本館にて取材

導入前の運用と課題

○介護の現場における複雑なシフト管理を、確実に処理したい

京都市内を一望できる丘の上に、斬新な意匠でそびえる介護付有料老人ホーム「ライフ・イン京都」。308戸の規模を誇り、元気な高齢者から介護を必要とする人まで入居できる体制を整えている。同ホームでは、約180名の職員・スタッフが従事しており、非常に手厚いサービスが高く評価されている。

ライフ・イン京都では、かなり以前からPCA製品が導入され、平成21年からは勤怠システムとして『就業管理たんぽぽ』も利用されてきた。しかし当時のシステムでは、まだ不十分な点があったと管理課システム管理係 國本勝樹氏は振り返る。

「介護の現場はとにかくシフトの種類が多く複雑です。常勤のスタッフはある程度処理しやすいのですが、パートスタッフの場合はシフトも頻繁に替わり、夜勤などは時給も変わってきます。このシフト管理の部分に関しては手作業での集計になるため確認作業に時間がかかり、また集計ミスリスクもありました。その点をまずは何とか解決したかったのです」

導入後の効果

○Excel®で複雑なシフトを自動的に登録・スケジュールリング

この複雑なシフトを管理するために、平成23年から新たにシフトを簡単に取り込みできる連携を行った。これは各部署のシフトをExcel®にまとめデータ変

換し、就業管理システムに読み込ませるだけで勤務予定データを自動登録できる仕組みだ。病院や老人ホームの場合ならば、早朝・夜勤・深夜勤などのシフトを、あらかじめ条件を登録しておくことで、それを基に自動的にスケジュールが作成される。

「シフトデータを自動登録できたことで、業務は大幅に楽になりました。勤怠時間の確認作業に費やす時間がかなり減りましたし、同時に間違えるリスクも減りました」

○職員・スタッフの資格取得のためにも確実な勤怠管理が必要

國本氏が職員・スタッフの確実な勤怠管理にこだわる理由は、単に給与計算のためだけではなく、介護施設ならではの理由がある。それは実務日数の確実な集計処理だ。例えば介護士として入職した人の場合、3年以上の勤務実績があれば介護福祉士の資格試験を受けることができる。社会福祉士やケアマネジャーも同様に介護の実務経験の日数が問われる。そのため実務日数を確実に管理し、実務証明書を作成するためにも確かな勤怠管理が必要だった。

「かつては実務日数についてタイムカードで日数を数える処理を行っていた時期もあります。しかし『就業管理たんぽぽ』の導入によって、実務日数をスムーズに出すことができるようになりました。現在の勤怠管理システムについて、正式に職員の声をヒアリングしたわけではありませんが、おそらく確実に日数も時間も管理されていることで、安心している人が多いと考えています」

平成25年10月からは勤怠管理を『就業管理たんぽぽ』から『就業管理クロノス』へ移行。同時に『PCA給与9』から『PCA給与X』へのバージョンアップも行った。移行の際に気になっていた点は、過去の勤

怠の履歴が完全に移行できるかということだった。先述した職員・スタッフの資格試験のための実務日数の記録はもちろんのこと、雇用保険などの手続きについても、迅速に対応したかったからだという。

『就業管理たんぽぽ』には平成21年からの約5年分の180名の勤怠データが蓄積されていました。かなりのデータ量でしたが、問題なく『就業管理クロノス』へ移行でき仕事もはかどっています。過去の勤怠データをそのままシステムにコンバートできる点は非常に助かりました。実務証明書の発行も雇用保険の手続きも素早く行えます」

○1人でもわずか1日半の時間で、180名分の勤怠管理・給与計算が可能に

給与計算については以前は『就業管理たんぽぽ』の勤怠データをExcel®出力し

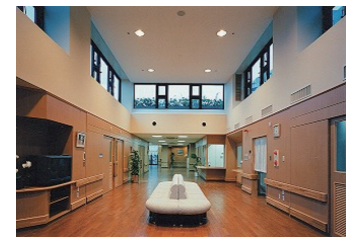
資料を作成。それを社会保険労務士へ送り給与計算を依頼していた。しかしこの方法では資料を作成する段階で、どうしてもミスが発生しやすかった。

「『就業管理たんぽぽ』の勤怠を基に、また新たに提出用の資料を作っていたのですが、間違っって表を作成することもありました。そこで平成24年1月に『PCA給与9』の使用を開始しました。『就業管理たんぽぽ』のデータをそのまま『PCA給与9』へ連動できるので、資料作成時の人為的なミスの発生を心配することはなくなりました」(國本氏)

現在、職員・スタッフはIDカードを兼ねたICカードを出退勤時に『テレタイムX-F』(タイムレコーダー)にかざす。するとその勤怠データが『就業管理クロノス』に取り込まれ、そのデータは『PCA給与X』へと移行。その後は迅速に給与の支払い処理へと進む。



ケアセンター ひまわり



ケアセンター こすもす

システム概況図



テレタイムX-F
出退勤時刻にICカードをかざす



複雑なシフト管理を自動登録



就業管理クロノス

CSVファイル

職員の食費、時間外申請時間、介護職員処遇改善加算などのデータ



PCA給与X

給与資料

クロノス勤怠データを基に作成した資料でチェックする(データの確認、イレギュラーな点等)



本館ロビー



ライフ・イン京都 HP
http://www.lifeinkyoto.com/

「勤怠データは毎月16日に締めます。現在も紙媒体での勤怠データのシートは作成しており、上司に提出しているのですが、18日には上司から承認をもらっているの、約1日半で180名分の勤怠管理・給与計算ができています。なお『PCA給与X』を利用して、給与事務を私が1人で担当しているのですが、わずか1日半で180名分の勤怠管理ができています」

○あらゆる業種に対応でき、業務の心理的負担も軽減できるPCAの勤怠管理システム

國本氏は以前、ソフト開発に携わっていた経験があり、ライフ・イン京都のホームページ作成などIT関連全般も担当している。パッケージソフトを見る目も、使う側・提供する側の2つの視点で見ることができる人物だ。そのような経歴をお持ちの國本氏に『PCA給与X』についての率直な感想を伺った。

まず、入力のしやすさやわかりやすさなどのインターフェイスの部分で問題がなく、給与事務や経理経験がなく、ITにあまり強くない人でも使いやすいオペレーションに優れた点がPCAソフトの特長だという。また、PCAの勤怠管理システムによって、業務に余裕が生まれ、それは「慌てなくてもよい、焦らなくてもよい」という心理的な負担の軽減にも繋がっているという。

「例えば職員の食費や介護職員処遇改善加算など勤怠と関連しない部分の給与データを、事前にCSVデータとして作成しておき、それを『PCA給与X』に読み込んで計算させています。これらを給与計算

時に給与システムに入力するとなると、人数も多いですしそれなりの時間がかかってしまいます。しかし先にCSVデータを作成しておけば後は『PCA給与X』で自動計算してくれますからね。慌てる必要がないのです」

『PCA給与X』をさらに使いやすいソフトにするためのご意見として、セキュリティをより強固にするためにメニューにあるロック機能の向上や、マスター読み込みが以前のように柔軟性があるとよいと語る。「全般的にはPCAの勤怠管理システムには満足しています。介護施設や病院だけでなく、あらゆる業種に対応できるシステムだと思います」

今後の展望と課題

『PCA給与X』の特性をうまく使いこなしている國本氏だが、現在、社会保険労務士に委託している年末調整や社会保険業務を、今後はなるべく管理課で行ってみたいそうだ。ライフ・イン京都は職員・スタッフの働きやすい環境にも力を入れており、離職率がきわめて低い。

しかし管理部門に人員を割くことはなかなか難しく、少人数での管理が必要となる。そのためにもPCAの勤怠管理システムの位置づけは大きくなるという。「現在、PCAの勤怠管理システムなしでは業務がなりたたないほどです。今後も少人数での管理部門を支援していただけるようなシステムを期待しています」



『PCA給与 X』に連携させた「ワンストップの給与処理」で、時間と紙のコストを削減。
『PCA社会福祉法人会計 V.3』の応用性を活かし、事業形態に沿った会計体系を確立

社会福祉法人 一燈会

湘南エリアを中心に、グループホームや介護老人保健施設などを運営する社会福祉法人一燈会。各施設では多様な資格を持つスタッフが様々なシフトで勤務しており、その勤怠管理と給与計算を「ワンストップで処理」するために、『PCA 給与 X』をはじめとする勤怠管理・給与計算システムが導入された。『社会福祉法人会計 V.3』も長年使用しており、その柔軟性が評価されている。導入にあたってシステム全体を見直したという同法人。PCA 製品がどう活用されているのかを伺った。

導入システム

- ・ PCA 社会福祉法人会計 V.3 EasyNetwork
- ・ PCA 給与 X EasyNetwork
- ・ 就業管理クロノス (500 人制限 15CAL) ※1
- ・ テレタイム Win レコーダー ※3
- ・ Zaion (500 人制限) ※2
- ・ Web 給金帳 ※4

導入の狙い

- ・ 450名の従業員の給与処理を、ワンストップで処理したい。
- ・ 100通りある複雑な勤務区分にも対応できる給与ソフトが必要。

導入効果

- ・ 『Zaion』+『就業管理クロノス』+『PCA給与X』+『Web給金帳』の勤怠管理・給与計算・給与明細ペーパーレスシステムによって、ワンストップで処理。よりミスのない確実な給与処理が可能になった。
- ・ 『PCA給与X』なら自在に計算式を組める。残業計算も端数まで設定でき、多様な資格と雇用形態のスタッフが従事する介護施設での給与計算にも対応。

プロフィール

社会福祉法人 一燈会

- 所在地: 〒259-0134
神奈川県中郡二宮町一色1435-1
- 設立: 1989年6月
- 従業員数: 450名
- URL: <http://www.ittokai.or.jp>

□事業内容

- ・ 介護老人福祉事業(特養・老健)
- ・ 短期入所生活介護(ショートステイ)
- ・ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- ・ 特定施設入所者生活介護(有料老人ホーム)
- ・ サービス付高齢者向け住宅
- ・ 地域密着型介護老人福祉施設
- ・ 通所介護(デイサービス)
- ・ 訪問介護(ホームヘルプサービス)
- ・ 居宅介護支援
- ・ ヘルパースクール

社会福祉法人 一燈会グループ
サポートオフィス 外観



※ 1)『就業管理クロノス』、2)『Zaion』、3)『テレタイム Win レコーダー』は、クロノス(株)の製品です。
※ 4)『Web 給金帳』は、(株)インターコム
の製品です。



社会福祉法人 一燈会
管理部 経営サポート課 課長
岡本 光弘 氏



社会福祉法人 一燈会
管理部 総務課 会計担当
小縄 香保里 氏



サポートオフィスにて取材

導入前の運用と課題

○各地に点在する各施設の勤怠管理・給与計算を確実に効率化したい

西湘エリアを中心に計13カ所の老人介護施設を運営する社会福祉法人一燈会。介護老人福祉施設やグループホーム、デイサービスセンターなど施設の種類も多く、450名ものスタッフが介護に従事している。スタッフの資格や勤務区分も複雑になる介護施設のため、以前の勤怠管理・給与計算にはどうしても時間と工程が必要だった。当時の状況を管理部 経営サポート課 課長 岡本光弘氏は次のように振り返る。

「以前は各施設でタイムカードに打刻された勤務時間を集計していました。タイムカードを遠方から開成町の管理部まで持参してもらわなければならないケースがありました。当法人は各施設が神奈川県中郡・足柄上郡・小田原市・平塚市と広範囲に広がっています。給与明細も遠方の施設から責任者が管理部へ取りに来なければならず、これらの時間短縮は大きな課題でした」(岡本氏)

「以前は各施設の勤怠データが揃い、それを集計し、給与明細を袋詰めするまで2名が2日間かけていました。集計そのものは『PCA給与X』を利用していたため負担は軽かったのですが、450名もの給与明細の袋詰めは大変でした。チェックの時間があまり取れない点も気掛かりでした」(管理部 給与担当者)

選定のポイント

○勤怠管理・給与計算・給与明細ペーパーレスシステムをワンストップで処理

そこで岡本氏は次のような効率化を模索したという。「せっかく『PCA給与X』を使っ

ているのだから、連携させて給与処理をよりスムーズにできる方法はないか?時間も紙も無駄にしないで、ワンストップで処理できる方法があるのではないかと考え、PCAの販売パートナーであるリコーへ相談しました」

リコーの担当者からは「ワンストップで処理できる」という返答があった。それが『Zaion』+『就業管理クロノス』+『PCA給与X』+『Web給金帳』の勤怠管理・給与計算・給与明細ペーパーレスシステムだった。平成24年7月に導入し、現在13事業所すべてで稼働している。

導入後の効果

○『PCA給与X』によって100通りの勤務区分をスムーズに処理

現在、一燈会では次のような流れで“ワンストップの給与処理”を行っている。①スタッフは出退勤時にはICカードを『テレタイム Winレコーダー (タイムレコーダー)』にかざし、『Zaion』で勤怠を管理。②勤怠データは『PCA給与X』に取り込まれ自動的に集計、給与計算。③給与明細は『Web給金帳』によって各施設のパソコンや複合機から確認・印刷。

このシステムによって、各施設長が管理部にタイムカードを届けなくなり、また給与明細をわざわざ取りに来る必要もなくなった。管理部も450名もの給与明細の袋詰め処理は行わなくてもよくなった。

同法人の場合、勤務区分は約100通りにも及ぶ。夜勤や残業などの計算も複雑で、介護職については「スタッフの数だけ勤務区分がある」といってもよいほどだ。岡本氏が「柔軟性が非常にある」と評価しているように、『PCA給与X』では支給・控除項目に四則演算が設定できる計算式を使える。また複数の計算式で使用する条件式なども、あらかじめ計算式テーブルとして登録しておくことができ、様々なパターンの計算式に対

応できる。

「計算式について不明点がある場合は、PCAへ問い合わせています。実際にかなり複雑なシフト計算のスタッフも多いのですが、まったく問題なく『PCA給与X』で処理できています」(管理部 給与担当者)

○ワンストップの給与処理によって、チェックにかかる時間を増やせた

勤怠管理・給与計算・給与明細ペーパーレスシステムをワンストップで処理できるようになったことで、最初の目的通り、確実に時間と紙の無駄が省けたと岡本氏は語る。

「給与明細をwebで出力できることは、施設長だけでなく働いているスタッフにとっても便利です。例えば源泉徴収票は住宅ローンを組むときなど、頻繁に必要になります。そのたびに管理部に問い合わせなくても、各施設の複写機から自身のIDとパスワードを入力することで簡単に出力できます。以前は専用紙を使用していましたが、現在は

その分の経費も抑えられています。なお、今でも施設長がスタッフに手渡ししている施設もあり、柔軟に現場の判断に任せています」

時間の効率化は、給与処理をより確実化することにも繋がっている。「今も給与処理については2名で3日間の時間を使っていますが、ただし、以前は作業だけで手一杯だったのが、現在は確認作業に時間をとれるようになりました。そのためミスもかなり軽減しています」(岡本氏)

○『PCA社会福祉法人会計V.3』なら、事業形態に沿った事業区分が可能

一燈会では『PCA社会福祉法人会計V.3』も導入している。会計担当者は『PCA社会福祉法人会計』の印象を、「一言でいうなら自由度が高い点」と評価している。「科目の登録や事業区分の設定が比較的自由にできる点はとても助かっています」(管理部 総務課 会計担当 小縄香保里氏)



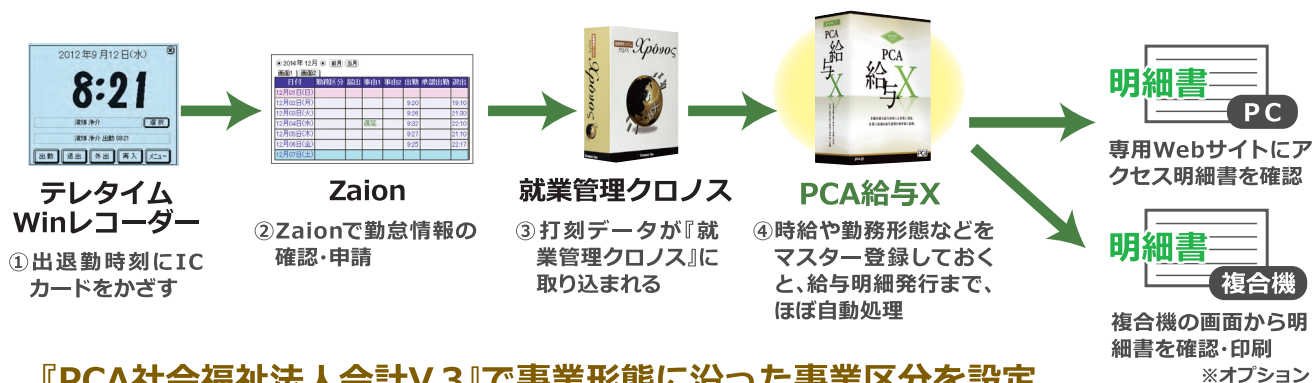
係の方を呼んでくれる受付のロボット



かわいいオブジェなどが飾られている明るいオフィス

システム概況図

『PCA給与X』を中心に給与明細までワンストップで処理



『PCA社会福祉法人会計V.3』で事業形態に沿った事業区分を設定



- ① 事業形態にあった事業区分を設定可能
- ② サービスを登録すれば「サービス別集計」が可能。サービスを拠点としてグループ登録すれば、「拠点別集計」や各帳票の出力も簡単。

PCA社会福祉法人会計V.3

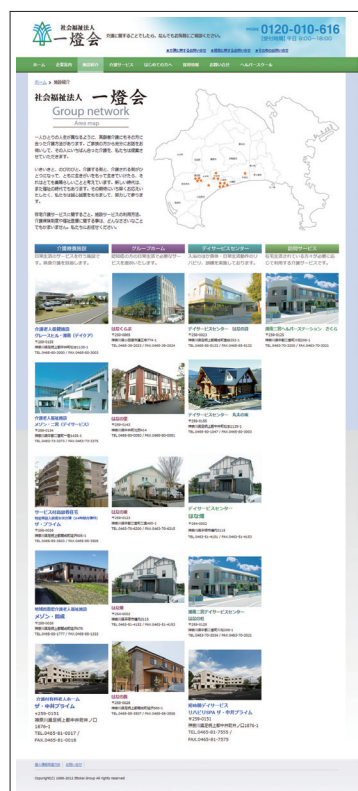
今後は…
『PCA人事管理X』との連携を視野に入れ、さらに効率的な人事管理を検討中



一人ひとりの人生が異なるように、高齢者介護にもその方に合った介護方法があります。ご家族の方から充分にお話を伺いして、その人にいちばん合った介護を、私たちは提案させていただきます。

いきいきと、のびのびと。介護する側と、介護される側がひとつになって、ともに生きがいをもって生きていけたら、それはとても素晴らしいことと考えています。新しい時代は、また福祉の時代でもあります。その期待にいち早く応えたいと、私たちは誠心誠意をもちまして、努力して参ります。

在宅介護サービスに関すること。施設サービスの利用方法。介護保険制度や福祉医療に関する事は、どんなささいなことでもかまいません。私たちに任せください。



社会福祉法人 一燈会 HP
http://www.ittokai.or.jp

非営利系の会計ソフトの場合、定型化されたパッケージソフトになりがちだが、PCAでは科目や事業区分の設定に応用が利くため、より事業形態にふさわしい設定ができる。

また、同法人の場合、予算帳票など施設ごとにExcel®で出力し、独自のフォーマットでまとめた内容を理事への報告資料としており、次のような意見もいただいた。

「社会福祉法人の決算は、行政への報告も大事ですが、同様に理事など関係者への報告も大切で、経営判断に役立つものでなければ意味がありません。しかし決算書は分かりにくい面もあります。そこで、施設ごとの決算の要約(サマリー)のような帳票も、容易に出力できるとよいですね」(小縄氏)

○『PCA社会福祉法人会計V.5』ではより便利な機能を追加

一燈会では本年度から新会計基準を導入していく予定で、『PCA社会福祉法人会計V.5』へのバージョンアップもそのタイミングを想定している。

『PCA社会福祉法人会計V.5』では次のような新機能が追加されている。①一括配賦処理:月末などに決まった配賦がある場合は、配賦パターンをあらかじめ登録できる。②銀行振込機能の強化:銀行振込対象仕訳に対する支払仕訳を自動化。③分析機能の強化:科目別拠点残高一覧表・科目別拠点予算管理表・科目別拠点残高推移表・4年前の5期まで遡って比較できる比較財務諸表。

また減価償却の間接法への対応や、振替伝票入力で内部取引取消仕訳を簡単に登録できるようになっているなど、他にも様々な便利な機能が揃っている。

今後の展望と課題

○現状のシステムを見直し、新システム導入によるメリットを具体的にイメージ

一燈会では、今回の勤怠管理システムの導入について、まずは以前のシステム環境そのものをじっくり見直すところから始めたという。「導入費用は決して安くはない金額ですから、経費をどのように削減できるかを検討してみました。すると以前のシステム環境の無駄も見えてきたのです。新しいシステムの導入を迷っておられる法人や企業の場合、まずは現状のシステムをよく見直し、新たに導入するシステムがもたらすメリットとの差を、じっくり比較してみるとよいと思います」(岡本氏)

一燈会では今後『PCA人事管理』の導入も視野に入れ、よりスタッフが安心してキャリアを積んでいける環境づくりも考えている。スタッフへのiPadの配布など、積極的に新しいものを取り入れており、スタッフが生き生きと働けるためのワークライフバランスにも配慮している。すべては利用者であるお年寄りが満足できるサービスへと還元するためだ。そのためにもPCA製品による業務の効率化には期待が寄せられている。

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。



『ひとりじゃない暮らし』
『家族以上に温かみのある思いやり』
これが私たちが目指すサービスです。

高齢化社会のニーズのために
施設と本部をクラウドでつなぐ！
情報共有で質の高いサービス提供を実現

報恩感謝。『高齢者の幸せ第一』を信念に、
安心して暮らせる社会をつくります。



川商グループ

株式会社 川商

高齢者向け住宅の管理・運営にはじまり、訪問介護ステーションや居宅介護支援事業所の運営まで、幅広く高齢化社会のニーズに応えている川商。どんな立場のご高齢者にも安心できる環境を提供したいとの思いから、営利目的ではなく真に心の通った温かみのあるサービスを提供しており、その施設数も年々増えている。年ごとに大きく展開する施設と本部とを結ぶために導入されたのが『PCA クラウド』だ。

導入システム

- ・ PCA 会計 9V.2R7 for SaaS (5CAL)
- ・ PCA 給与 9V.2R7 for SaaS (5CAL)
- ・ PCA 商魂 9V.2R7 for SaaS (5CAL)
- ・ PCA 商管 9V.2R7 for SaaS (5CAL)

導入の狙い

- ・ 施設数が多く、バラバラである個々の業務を統一したい。
- ・ システム管理者を置かずにも施設の管理を行いたい。
- ・ 初期投資コストを削減したい。
- ・ 施設のミス情報を共有したい。

導入効果

- ・ システムに併せた運用で業務の一元化と情報の共有がスムーズに。
- ・ サーバー・ネットワーク不要のシステムで施設だけで円滑に業務を推進。
- ・ イニシャル0プランで導入コストの大幅な削減を実現。
- ・ 本部側でもデータを参照できるため、施設のミスを把握し、指導が可能に。

プロフィール

川商グループ
株式会社 川商

- 所在地：〒542-0064 大阪市中央区上汐1丁目4番6号 富士ビル3F
- 従業員数：150名(パート従業員含む)
- 設立年月日：平成17年3月31日
- 事業内容：○高齢者向け住宅の管理、及び運営
○訪問介護ステーションの運営
○居宅介護支援事業所の運営
- 企業URL：<http://www.kawasho-hl.jp>

【社は】



【企業理念】

1. 報恩感謝
2. 「高齢者の幸せ第一」を信念に徹し、社業を通じて社会貢献する。
3. 誠実を旨とし、和を重んじて社業に徹します。

どんな人にも平等に、そして確実に、『老い』はおとずれます。高齢化社会の現在、全てのひとに、そしてその御老人の周囲の方にも、安心できる環境を提供したい。これが、私達の願いです。

老後の一人の暮らしが、どんなに心細くあり、また大変なことでしょう。だからこそ、私達は高齢者が安心して暮らせる環境づくりに全力を尽くします。

『ひとりじゃない暮らし』、『家族以上に温かみのある思いやり』、これが私達が目指すサービスです。

私達は、高齢者向け住宅の運営を通じ、安心してすごせる老後の環境を提供していきたく思います。

代表取締役社長 川畑 佳子 (企業HPより)



株式会社 川商
川商グループ 会長
川畑 俊彦 氏

導入前の運用と課題

○様々な立場の人が利用できる 高齢者住宅

川商が提供している高齢者住宅には「誰もが平等に老いを迎えられる」という、他の有料老人ホームとは異なる特徴がある。「私どもの高齢者住宅は生活保護の方でもご入居いただける施設です。深まる高齢化社会、そして様々な事情をお持ちのご高齢者が増え、各市区町村から開設の依頼を数多くいただいております。現在 13 箇所の施設を開設していますが、今後 3 年間で 34 箇所の開設が決定しております。」(株式会社川商 川畑俊彦会長)

○各施設と本部の 2 重管理

施設の数が多い分、クラウド導入前は本部との情報共有がスムーズではなかった。各施設でそれぞれのやり方があったため、中身が見えにくいという問題もあった。「利用者(入居者)への請求書は、各施設で Excel®によって作成・使用していました。しかし未払いや過剰入金による請求残高の管理ができず、本社の総務課が元帳管理を行う 2 重管理でした。多くの施設では経理専門の事務員がいなかったため、請求管理に限界を感じていました。そこで情報を

共有できるクラウドサービスを検討したのです」(IT コンサルタント 堀本禎氏)

導入のきっかけ、導入後の効果

○システム管理者不在でも問題のないシステム環境

川商では IT コンサルタントの堀本氏が IT 業務を担当していた。堀本氏は PCA の製品を以前からよく知っており、川商も古くから PCA の製品を利用してきた。「クラウドを導入するにあたり、もちろん PCA 以外の製品やサービスも検討してみました。福祉施設に特化した専用ソフトも他社にはあります。しかし価格がネックでした。当社は会長の説明した通り、余分なお金をかけるのならその分お年寄りに還元するのがモットーです。そのためシステム管理者は置けません。システム管理者がいなくても各施設と本部とをスムーズに繋げ、かつ価格の面でも納得できるサービスが必要でした。通常、新しくシステムを導入する際には数百万から 1 千万円近くのコストがかかりますが、PCA にはイニシャルゼロプランがありました」(堀本氏)

○万が一の場合にも不安のないクラウドサービス



株式会社 川商
総務部 部長
山下 美由紀 氏

クラウドの場合、システムごと
にライセンスを購入するのでは
なく商魂、給与、会計共通で利用
できるので、給与の忙しい時期は
総務部員全員が利用し、2、3日
で処理できています。実際にクラ
ウドサービスを導入したことで、
本部の事務処理は大きく軽減で
きました。(株式会社川商 総務部 山
下美由紀氏)

「現場では Excel®で入力し、そ
れをクラウドに入れる仕組みを
採用してますが、導入前は入力ミ
スでデータを消去してしまうこと
がありました。しかし現在のクラ
ウドならその不安もありません。
3.11 の東日本大震災でデー
タを消失したという企業があっ
たと聞きますが、データもお預け
している状況ですから、緊急時を
想定しても心配はありません」
(堀本氏)

しかし導入当初はある程度の
時間が必要で、本部の会議室で講
習を開き導入までは半年かかり
ました。でも今は皆さん慣れてお
られますし、ミスがあればどこを
どう間違ったのかを現場と本部
とで共有できます」(山下氏)

今後の課題

○福祉施設ならではの問題

『PCA 商魂・商管』は一般向けの

販売・仕入在庫管理用に作られて
いるが、介護・福祉事業を行って
いる川商にとって不便な点はな
かったのだろうか? 「以前から
PCA の製品やクラウドサービス
を知っていたので、介護・福祉事
業者にとってある程度不便な点
があることは最初から予測して
いました。クラウドというものの
性格上、最大公約数を反映しなけ
ればなりませんから、それは仕方
のないことだと理解していまし
た。例えば介護保険番号や各入居
者様の引き落とし銀行の口座番号
を入力できる項目がありません
でした。しかし『商魂』がバージョ
ンアップし、今後はご利用者様独
自の項目が作成できると聞きた
す。すると今後は本部で引き落
しデータと、引き落としの結果を作
成・利用しながら入金処理がで
きるわけですから、今後はさらに
ミスの軽減や事務処理の効率化
が進むだろうと大きく期待して
います」(堀本氏)

「クラウドサービスによって利
用者の情報を瞬時に確認できる
ようになったのもとてもメリッ
トが大きいです。ただしメンテナ
ンスのために使えない時間がある
ことが少し困りますね。介護施
設や高齢者住宅ではご入居者様
が急に搬送されることがありま
す。その際にもご入居者様の情報



ITコンサルタント
堀本 禎 氏

大阪の高齢者向け住宅なら 株式会社川商のハートランドへ



ハートランド

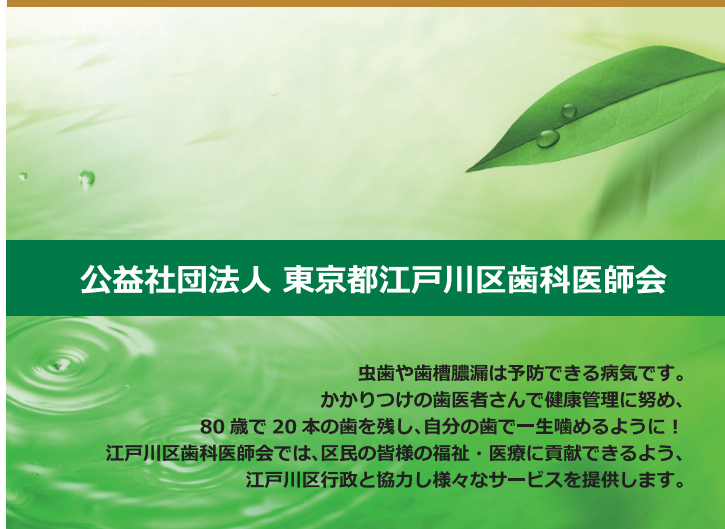
- ハートランド洛北
京都市左京区静海市原町 207
- ハートランド守口
大阪府守口市佐太中町 6-6-6
- ハートランド淀川
大阪府大阪市淀川区三津屋南 3-5-14
- ハートランド南志賀
滋賀県大津市南志賀 3-21-2
- ハートランド羽曳野
大阪府羽曳野市碓井 4-11-5
- ハートランド和歌山
和歌山県和歌山市布引字尾寄 874-5
- ハートランド布施
大阪府東大阪市長栄寺 4-2
- ハートランド倉敷
岡山県倉敷市北畝 5-20-23
- ハートランド東大阪
大阪府東大阪市若江東町 3-4-48
- ハートランド富田林
大阪府富田林市廿山 1-8-32
- ハートランド北花田
大阪府堺市北区北花田 3-22-9
- ハートランド枚方
大阪府枚方市長尾家具町 3-3-10
- ハートランド西淀川
大阪府大阪市西淀川区出来島 1-12-6



株式会社 川商 HP
http://www.kawasho-hl.jp

を瞬時に確認できればいいのですが。その点がお店や企業、福祉・介護事業者との大きな違いでしょうね」(山下氏)

「冒頭にもお話ししたように、当社は独自の考えで福祉事業を展開しております。多くの介護事業者が優遇措置の大きな都心部に介護福祉施設を開設しようとしますが、私どもは多くのお年寄りが『ひとりじゃない暮らし』を送れるようにあえて地方都市に出て行きたいと考えております。各施設と本部との繋がりや情報の共有にこだわるのには、そのような背景もあるからです。クラウドサービスがそのために力を発揮してくれることを期待しております」(川畑氏)



公益社団法人 東京都江戸川区歯科医師会

虫歯や歯槽膿漏は予防できる病気です。
かかりつけの歯医者さんと健康管理に努め、
80歳で20本の歯を残し、自分の歯で一生噛めるように！
江戸川区歯科医師会では、区民の皆様の福祉・医療に貢献できるよう、
江戸川区行政と協力し様々なサービスを提供します。

公益制度移行支援サービスを利用し、
余裕を持ったの新制度への移行完了。
科目の見直しでさらに適合した
経営に役立つ会計システムに成長。

公益社団法人



東京都江戸川区歯科医師会

平成24年度で社団法人設立40周年を迎える「東京都江戸川区歯科医師会」は、区民68万人の歯とお口の健康を守るために、区行政と協力して様々な活動を行っている。
『PCA 公益法人会計』と「PCA 移行支援サービス」を活用し、「公益社団法人」への移行を完了。また、委員会で利用している予算資料を、仕訳データを加工することで重複業務の削減に成功した。

導入システム

・PCA 公益法人会計 V.10

導入の狙い

- ・「公益法人」格に移行したい。
- ・委員会会議資料を手軽に作成したい。
- ・会計業務運用支援を受けたい。

導入効果

- ・平成24年3月に、「公益社団法人」へいち早く移行完了。
- ・入力した仕訳データを活用し、委員会会議資料を作成でき、重複業務を削減。
- ・会計事務所の運用支援を受けながら自社の業務改善に成功。

プロフィール

公益社団法人 東京都江戸川区歯科医師会

- 所在地：〒133-0052 東京都江戸川区東小岩 4-8-6
- 会員数：合計 259 名（一種会員 223 名、二種会員 1 名、終身会員 36 名、医療機関数 240 機関）
- 設立年月日：
 - ・創立：昭和8年4月
 - ・社団法人設立：昭和47年10月
 - ・公益社団法人登記：平成24年4月
- 企業 URL：http://www.edo418.jp

【会の概要】

この度の法人改革制度に伴い本会は東京都より「公益社団法人」の認定を受け平成24年4月1日より「公益社団法人 東京都江戸川区歯科医師会」に名称を変更いたしました。また、奇しくも今年、本会は社団法人設立40周年を迎えます。これまでも、68万人江戸川区民皆様方の歯とお口の健康を守るために、江戸川区と協力し様々な活動を行ってまいりました。これからは公益社団法人としてさらに一層、安全で安心な医療を目指していききたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

主なものとして

- ハローベビー教室・乳幼児歯科健診・区立保育園育成室健診・フッ素塗布と歯の健康相談・成人歯科健康診査などの保健事業（また、区立の幼稚園・小・中学校歯科健診のために学校歯科医会に先生方を推薦しております。）
- 休日応急診療・在宅訪問診療・障害者（児）歯科診療（口腔保健センター）などの区との協力事業
- よい歯の絵のコンクール・8020運動表彰・区民のための歯科健康講座等の啓発事業
- 区民まつり・防災訓練・ウォーキングフェスタなど区イベント参加等、様々な活動を通して区民の皆様方のお役に立てるように関わってまいります。

近年、歯周病と糖尿病、心臓病、肺炎などの全身疾患や低体重児出産との関係が明らかになってきています。そういった意味からも、全身の健康のための歯周病管理（予防と治療）が重要であり、私たちはライフステージに沿って乳幼児から高齢者の方々まで歯科健診を行い、区民の健康維持・増進のためにお役に立てよう、また良質な歯科医療を提供できるように日々研鑽を積んでおります。江戸川区歯科医師会はこれからも、地域医療に貢献できるよう会員一同、より一層の努力をしてまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

平成24年4月1日 公益社団法人 東京都江戸川区歯科医師会 会長 石川 祥一



【江戸川区歯科医師会館】
(休日歯科応急診療所会館内)



【江戸川区口腔保健センター】
(にこにこ歯科診療所)

当センターは、江戸川区が施設を建設し、公益社団法人東京都江戸川区歯科医師会が管理運営を行っています。いろいろな障害や寝たきりなどのために、地域の歯科医院で治療を受けることが困難な方の歯科診療を行います。専任歯科医師のほか、障害者（児）歯科診療の特別な研修を受けた江戸川区歯科医師会の歯科医師が診療にあたります。

《診療日時》
火～土曜 9:00～12:00、13:00～17:00
※予約制（日・月曜日・祝祭日・年末年始は休診）



東京都江戸川区歯科医師会 HP
<http://www.edo418.jp>

導入の運用と課題

公益法人の 20 年度新公益制度改革が施行されるにあたって、法人格を「公益社団」へ移行できるかが課題となっていた。一般的に「歯科医師会」は「一般社団」への認可が多く、公益事業比率の高い東京都江戸川区歯科医師会でも「公益社団」の認定を得るには様々な準備が必要であった。

検討のきっかけは？

PCA の主催する「公益法人向け新会計移行セミナー」を受講した際、『PCA 公益認定支援サービス』を紹介された。財務内容を分析し、現況把握・今後の問題点や課題を洗い出してくれるサービスである。また、希望する法人格の認定を得るために適合結果の仮判定も算定してもらえ。このサービスで新会計へ移行するためのアドバイスを受けながら、新しい基準を備えた『PCA 公益法人会計 V.10』で設定していくことで、事業の管理能力を高められるのではないかと考えた。

また、システム導入以前は、事業別になっている委員会で検討する費用分析資料を EXCEL®に入力して作成していた。財務会計とは別の仕組みであったため、実際は同じような資料を別々に作成していたことになる。

導入後の効果

委員会別に必要な費用明細は、『PCA 公益法人会計 V.10』に入力されたデータを総勘定元帳に出力し、EXCEL®加

工することで十分利用できる。これで重複していた入力負荷を軽減できた。EXCEL®出力後のソートや検索がしやすいように仕訳伝票にある「摘要」項目の入力方法やルールにも気を配ることで、理事向け資料をスムーズに作成・利活用できるようにもなった。ほぼ 1 人分の作業を減らすのと同じ効果を得られている。

稼働までのスケジュール

平成 24 年 4 月に移行申請を受けるため、平成 22 年度の秋口から新会計導入の調整を始めた。

現状管理している事業区分と新会計後の事業区分の見直しを行ったため、1 年目は新しい事業区分ごとの予算科目を設定する際に実態と科目が異なることもあった。2 年目は、昨年度にギャップが出た適用科目の範囲を明確にしながら科目別予算を丁寧に設定していくことで、より実態の活動に近い新会計の適用を行うことができた。各年度の決算処理も特に問題なくこなすことができ、新会計適用の精度も徐々に上がってきている。

今後の業務改善予定

導入指導会社である OAG 税理士法人の指導を頼っている部分も多いが、今後は会計担当者を複数育成し、仕事の負荷を軽減できるような分業化を進めたいと考えている。新会計基準でのデータも複数年蓄積でき、入力・運用ルールも確立できた今だからこそ次のステップに進めると考えている。

